資料３

令和２年度みえ森と緑の県民税基金事業の評価委員会評価

目　次

（１）評価の種類とその内容及び点数・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

（２）評価視点毎の評価点及び評価別事業数・・・・・・・・・・・・・・1

（３）評価委員会評価の事業別集計結果一覧・・・・・・・・・・・・・・2

（４）みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業
　　対策区分別集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

（５）市町別総合評価の集計結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

１．令和２年度みえ森と緑の県民税　評価委員会評価の集計結果

（１）評価の種類とその内容及び点数

評価委員の評価と内容

内　容	評価
取組が特に優れている	4
取組が妥当である	3
取組は妥当であるが さらに工夫が必要である	2
現状の取組に 改善が必要である	1

評価委員会の評価と内容

平均値による 評価基準		内　容
3.5≦X≦4.0	A	取組が特に優れている
2.9≦X＜3.5	B	取組が妥当である
1.9≦X＜2.9	C	取組は妥当であるが さらに工夫が必要である
1.0≦X＜1.9	D	現状の取組に改善が必要である

判定の集計方法

１．１０名の委員の判定（点数）を合計し、平均値をとります。

２．平均値（右上表）により、判定（A～D）を決定します。

（２）評価視点毎の評価点及び評価別事業数

評価	評価点 （点）	事業数（事業）			
		有効性	効率性	公益性	情報発信度
A	3.9	1（0）			
	3.8				
	3.7	1（3）			1（0）
	3.6	3（4）			
	3.5	10（2）		0（1）	1（0）
	A評価計	**15**（9）	**0**（0）	**0**（1）	**2**（0）
B	3.4	18（15）	3（1）	6（1）	6（2）
	3.3	30（17）	10（1）	17（12）	4（3）
	3.2	37（26）	62（14）	68（27）	23（4）
	3.1	12（30）	27（37）	22（45）	26（10）
	3.0	6（10）	13（29）	6（16）	24（20）
	2.9	2（3）	4（21）	1（7）	13（27）
	B評価計	**105**(101)	**119**(103)	**120**(108)	**96**（66）
C	2.8		1（5）	0（1）	10（13）
	2.7		0（1）		5（16）
	2.6		0（1）		6（12）
	2.5				1（2）
	2.4				0（1）
	C評価計	**0**（0）	**1**（7）	**0**（1）	**22**（44）
事業数計		**120**(110)	**120**(110)	**120**(110)	**120**(110)

※（　）内は、令和元年度事業の評価別事業数

（３）評価委員会評価の事業別集計結果一覧

事業名		有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	みえ森と緑の県民税基金積立事業	3.4	B	3.2	B	3.4	B	3.0	B
2-ア	災害緩衝林整備事業	3.3	B	3.2	B	3.1	B	3.1	B↑
2-イ	土砂・流木緊急除去事業	3.5	A↑	3.2	B	3.2	B	3.0	B
3	森林情報基盤整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.3	B
4-ア	森を育む人づくり サポート体制事業	3.4	B	3.0	B	3.4	B	3.3	B
4-イ	森林環境教育・木育拠点整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B↑
4-ウ	森林とふれあう 自然公園環境整備事業	3.0	B	3.4	B	3.2	B	3.1	B↑
5	生物多様性推進事業	3.0	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B↑
6	みえ子ども森林・林業アカデミー 自然体験事業	3.3	B↓	3.2	B	3.1	B	3.0	B
7-ア	流域防災機能強化対策事業	3.5	A↑	3.2	B	3.3	B	3.1	B
7-イ	森林再生力強化対策事業	3.5	A↑	3.2	B	3.3	B	3.0	B
8	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	3.5	A	3.3	B	3.2	B	3.1	B
9	みえ森と緑の県民税市町交付金 （基本枠、加算枠）事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B↑
10	みえ森と緑の県民税制度運営事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	2.9	B↑

※↑は、昨年度から評価が上がった事業を、↓は、昨年度から評価が下がった事業を示しています。

・再評価の結果、評価点が変更となった事業：２事業

桑名市：里山再生・竹林整備推進事業

効率性（事前評価）3.1点　→　（再評価）3.2点

尾鷲市：クッブ普及推進事業

有効性（事前評価）3.0点　→　（再評価）3.1点

公益性（事前評価）3.1点　→　（再評価）3.2点

・再評価の結果、評価が変更となった事業：なし

（４）令和２年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 対策区分別集計結果

みえ森と緑の県民税　対策区分１：土砂や流木による被害を出さない森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
度会町	流倒木撤去事業	3.3	B	3.0	B	3.2	B	3.1	B
大紀町	渓流倒木等処理事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.9	B
紀北町	河川周辺森林立枯木整備事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.0	B

みえ森と緑の県民税　対策区分２：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	常盤中学校学校林整備事業（危険木除去）	3.1	B	3.1	B	3.1	B	2.5	C
四日市市	里山・竹林環境保全支援事業	3.4	B	3.1	B	3.0	B	2.8	C
四日市市	危険木等除去支援事業	3.3	B	3.1	B	3.1	B	2.6	C
四日市市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.1	B	3.1	B	2.6	C
桑名市	里山再生・竹林整備推進事業	3.4	B	3.2	B	3.1	B	2.9	B
鈴鹿市	暮らしを守る森林保全事業	3.3	B	3.2	B	3.3	B	2.7	C
亀山市	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.6	C
いなべ市	危険木の除去事業	3.0	B	3.0	B	3.1	B	2.6	C
いなべ市	危険木の除去事業（主要道路）	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.7	C
東員町	危険木伐倒等業務	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
菰野町	病虫害被害木伐採搬出事業	3.4	B	3.2	B	3.1	B	3.2	B
菰野町	危険樹木事前伐採事業（災害からライフラインを守る事前伐採事業）	3.2	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
津市	津市林地残材搬出促進事業	3.2	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
津市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B

みえ森と緑の県民税　対策区分２：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
松阪市	里山の森林安全安心対策事業	3.3	B	3.0	B	3.2	B	3.0	B
松阪市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B
明和町	松林整備事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.0	B
大台町	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.1	B	3.2	B
大台町	集落周辺等危険木伐採事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
伊勢市	森林整備事業	3.2	B	3.2	B	3.3	B	3.0	B
鳥羽市	危険木伐採事業	3.4	B	3.1	B	3.2	B	3.0	B
志摩市	災害に強い森林づくり事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.8	C
志摩市	松くい虫防除事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	2.8	C
度会町	危険木伐採事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.1	B
大紀町	生活環境林整備事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	2.9	B
南伊勢町	危険木除去事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.0	B
名張市	危険木伐採事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.1	B
名張市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
名張市	人家裏危険木伐採事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
名張市	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.2	B	3.1	B
伊賀市	みんなの里山整備活動推進事業	3.5	A	3.2	B	3.2	B	3.2	B
伊賀市	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
尾鷲市	人家裏危険木伐採事業	3.2	B	3.4	B	3.2	B	3.1	B

みえ森と緑の県民税　対策区分２：暮らしに身近な森林づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
紀北町	危険木伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
紀北町	集落周辺森林（里山）整備事業	3.4	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
熊野市	森林病害虫等防除実施事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
熊野市	身近なみどり整備推進事業	3.1	B	3.3	B	3.2	B	3.2	B
熊野市	暮らしを守る危険木伐採事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.2	B
紀宝町	生活環境林整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	2.8	C

みえ森と緑の県民税　対策区分３：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
鈴鹿市	森林環境教育支援事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
鈴鹿市	森と緑の生涯学習講座	3.6	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
亀山市	森と木材のふれあい事業（森の講座）	2.9	B	2.9	B	3.0	B	3.1	B
亀山市	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	3.5	A	3.3	B	3.4	B	3.4	B
いなべ市	中学校卒業記念品配布事業	3.4	B	3.2	B	3.4	B	3.2	B
いなべ市	森林環境教育支援事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B
朝日町	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3.5	A	3.2	B	3.3	B	3.7	A
津市	津市森林環境教育事業	3.5	A	3.2	B	3.2	B	3.3	B
津市	美里水源の森「林業体験」事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
松阪市	森林環境学習事業	3.4	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
大台町	森林環境教育事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B

みえ森と緑の県民税　対策区分３：森を育む人づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
志摩市	森と緑ふれあい事業	3.4	B	2.9	B	3.2	B	3.2	B
玉城町	森林環境教育・木育事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
度会町	森林環境教育推進事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.5	A
南伊勢町	森林環境教育事業	3.0	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
名張市	みて・さわって・森のわくわく体験事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
名張市	学校林整備事業	3.5	A	3.1	B	3.2	B	3.0	B
名張市	森林環境教育推進事業	3.2	B	3.3	B	3.1	B	3.1	B
伊賀市	親子ではじめる木育推進事業	3.7	A	3.2	B	3.3	B	3.4	B
伊賀市	伊賀の森っこ育成推進事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.4	B
伊賀市	地域の森と緑のつながり支援事業	3.1	B	3.1	B	3.0	B	3.1	B
伊賀市	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	3.6	A	3.2	B	3.2	B	3.2	B
尾鷲市	“森の国”尾鷲の自然環境人材育成事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
尾鷲市	クッブ普及推進事業	3.1	B	2.9	B	3.2	B	3.2	B

みえ森と緑の県民税　対策区分４：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
四日市市	認定こども園備品整備事業	3.2	B	3.2	B	3.3	B	2.9	B
四日市市	少年自然の家管理運営事業	3.2	B	3.2	B	3.3	B	2.6	C
四日市市	市民活動センター運営事業	3.2	B	3.2	B	3.3	B	2.8	C
鈴鹿市	図書館木製備品購入及び森林環境啓発事業	3.5	A	3.2	B	3.2	B	3.4	B
鈴鹿市	公立保育所及び公立幼稚園木製備品設置事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
亀山市	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.4	B
亀山市	森林環境教育・木育が行える場の整備	3.2	B	3.2	B	3.3	B	2.7	C
朝日町	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	2.9	B	2.8	C	3.1	B	2.8	C
朝日町	森と緑を大切に思う人づくり事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B
川越町	総合センター机・椅子等整備事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.1	B
川越町	総合体育館荷物置き棚及び案内掲示板整備事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
川越町	中央公民館木製司会台等整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
松阪市	幼稚園木育推進事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	2.9	B
松阪市	都市公園整備事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.7	C
多気町	木とふれあう環境づくり事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	3.0	B
伊勢市	みなと小学校家具製作事業	3.9	A	3.4	B	3.4	B	3.4	B
志摩市	観光農園整備事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	2.6	C
玉城町	森林ふれあい創出事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	2.9	B
玉城町	公共施設（学び場）整備事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.8	C

みえ森と緑の県民税　対策区分４：森と人をつなぐ学びの場づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
名張市	県産材に親しむことができる木育推進事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	3.2	B
名張市	森と人をつなぐ憩いの空間作り事業	3.1	B	3.1	B	3.3	B	3.3	B
尾鷲市	木とふれあう学校環境づくり事業	3.6	A	3.2	B	3.3	B	3.1	B
御浜町	中央公民館木質化事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
紀宝町	飛雪の滝キャンプ場木製備品購入事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.8	C

みえ森と緑の県民税　対策区分５：地域の身近な水や緑の環境づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
桑名市	播磨２号緑地里山整備事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
鈴鹿市	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
鈴鹿市	緑と人を育む 長太の大楠再生プロジェクト	3.4	B	3.2	B	3.4	B	3.2	B
菰野町	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	3.2	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C
大台町	森とのふれあい空間整備事業	3.0	B	2.9	B	2.9	B	3.0	B
伊勢市	みなと小学校整備事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.8	C
志摩市	創造の森横山整備事業	3.3	B	3.2	B	3.3	B	2.9	B
南伊勢町	阿曽浦公園ウッドチップ舗装整備事業	3.0	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B
名張市	森林公園等環境活用整備事業	3.4	B	3.3	B	3.2	B	3.1	B
名張市	桜並木保全管理事業	3.1	B	3.1	B	3.2	B	3.1	B
尾鷲市	三木里地区憩いの場整備事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
尾鷲市	中村山公園整備事業	3.3	B	3.2	B	3.1	B	3.1	B

みえ森と緑の県民税　対策区分５：地域の身近な水や緑の環境づくり									
市町名	市町事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
		平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
熊野市	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
熊野市	景勝林等保護事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
御浜町	森林公園等環境整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
御浜町	熊野古道道標等設置事業	3.1	B	3.1	B	3.1	B	3.1	B
紀宝町	クマノザクラ整備事業	3.3	B	3.0	B	3.1	B	2.7	C

令和２年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業

市町別総合評価の集計結果

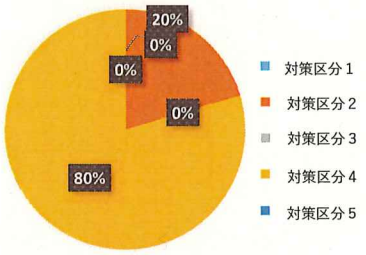
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	四日市市	三重県
人口（人）	310,019	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	2,865.41	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	2,557.33	348,833.49
森林率(%)	14.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.1	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	常磐中学校学校林整備事業（危険木除去）	1,109,900	1,109,900		1,109,900				
2	2	里山・竹林環境保全支援事業	892,000	892,000		892,000				
3	2	危険木等除去支援事業	420,400	420,400		420,400				
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,059,100	764,775		764,775				
5	4	認定こども園備品整備事業	6,988,300	6,988,300				6,988,300		
6	4	少年自然の家管理運営費	4,499,000	4,499,000				4,499,000		
7	4	市民活動センター運営事業	943,800	943,800				943,800		
8		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	7,382,825	7,382,825						7,382,825
計			25,295,325	23,001,000	0	3,187,075	0	12,431,100	0	7,382,825

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業		3,059,100	764,775	実施箇所：西坂部町　事業量：３９本

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	市内には整備が行き届いていない森林が多く、それらの整備や保全活動を行う団体を支援することによって、森林の保全と生活の安全性の確保を図る。 こども園や市民活動センターなど、多くの市民が利用する施設に木製備品を導入することによって、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供し、森と市民との関係を深める。
事業実施により得られた効果	森林整備や危険木除去を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保されたとともに、整備された場所は子供の遊び場としても利用され、子供が森林にふれあう場を作ることができた。 木製備品を導入したことにより、施設利用者に森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るため、ホームページへの掲載と、導入した木製備品へのシール等の貼り付けを行った。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・学校林を活用した教育プログラムを積極的に導入していただければと思います。 ・全般的に情報発信が弱いように感じる（HP掲載が「今後」とあるが，既に掲載されているのか？）。 ・市民、児童・生徒が三重の森林や木材に触れる機会があり、良い取り組みをされています。一方で、その機会を使って、市民、児童・生徒が三重の森林や木材に関心が持てるような、関心が高まるような取り組みがあるとよい。 ・写真が少ない。 ・より多くの方に発信できる方法の検討を望みます。 ・危険木除去や公共施設への木材利用など幅広く活用させている。 ・認定こども園や少年自然の家での木材利用は子どもたちへの波及効果も大きいと考えらる。これらの場を活用した森林教育などにも取り組まれたい。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	常磐中学校学校林整備事業（危険木除去）	3.1	B	3.1	B	3.1	B	2.5	C
2	2	里山・竹林環境保全支援事業	3.4	B	3.1	B	3.0	B	2.8	C
3	2	危険木等除去支援事業	3.3	B	3.1	B	3.1	B	2.6	C
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.1	B	3.1	B	2.6	C
5	4	認定こども園備品整備事業	3.2	B	3.2	B	3.3	B	2.9	B
6	4	少年自然の家管理運営費	3.2	B	3.2	B	3.3	B	2.6	C
7	4	市民活動センター運営事業	3.2	B	3.2	B	3.3	B	2.8	C

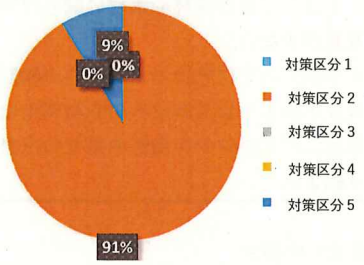
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報　（「三重県市町要覧（令和２年度版）」「令和元年度森林・林業統計書」より）

市町名	桑名市	三重県
人口（人）	138,976	1,771,855
年少人口割合（%）＊1	13.1%	12.2%
森林面積(ha)	3,022.60	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	2,933.93	348,833.49
森林率(%)	22.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.2	10.2

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	里山再生・竹林整備推進事業	4,906,000	4,500,000		4,500,000				
2	5	播磨２号緑地里山整備事業	430,000	430,000					430,000	
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	8,703,000	8,703,000						8,703,000
計			14,039,000	13,633,000	0	4,500,000	0	0	430,000	8,703,000

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	地域の森林環境整備を行い、それら事業の原資となる県民税のPRを通じて、みえ森と緑の県民税がどのように県民のくらしに役立てられているかを周知し、県民の理解が深まるよう事業を展開した。また、「桑名竹取物語事業化推進協議会」と連携により竹林整備で発生した竹材を有効活用し、経済的循環の創出に貢献するための取り組みを行った。
事業実施により得られた効果	里山や竹林の整備に関わり、また整備された里山や竹林に触れることにより得られる癒しの効果を通して、人々の暮らしと森林環境との関わりに対する理解が深まった。
情報発信への取組	現場での看板設置やポスター・のぼり旗の掲示、チラシの配布などを行うとともに、事業委託先団体のホームページやSNSにおける活動紹介や、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止したものの、里山でのホタルの放流会や飛翔観察会の開催を通じて、県民税を活用した事業であること、県産材を活用していることを重点的にPRし情報共有を推進した。

５．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・少しずつでも里山の整備・保全が進むことを期待しています。 ・どちらも市民団体や地元住民の参画があり，よい取り組みだと思う。竹材の有効活用についてもう少し教えて欲しい。 ・NPO等地域課題に対して当事者意識を持って活動している団体が、市と協働で取り組むことが出来ていて、地域への波及効果や事業の継続性が担保されています。作業継続とともに、市民への周知を重ねた事業、イベントの開催を行い、桑名の里山が抱える課題を多くの市民と共有できる場を作っていただきたいです。 ・竹林整備、里山整備の必要性は理解できる。大半の交付金が積立られており、森林環境譲与税も全額（森林整備等）で積立となっている。どのような方針で活用させるかを明らかにして頂きたい。 ・森林教育や県産材利用も進めて頂きたい。

６．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山再生・竹林整備推進事業	3.4	B	3.2	B	3.1	B	2.9	B
2	5	播磨２号緑地里山整備事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報「三重県市町要覧（令和２年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	鈴鹿市	三重県
人口（人）	195,328	1,771,855
年少人口割合（%）＊1	12.6%	12.2%
森林面積(ha)	3,584.17	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	3,408.37	348,833.49
森林率(%)	18.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.8	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	暮らしを守る森林保全事業	1,250,700	1,250,700	0	1,250,700	0	0	0	0
2	3	森林環境教育支援事業	253,000	253,000	0	0	253,000	0	0	0
3	3	森と緑の生涯学習講座	939,200	939,200	0	0	939,200	0	0	0
4	4	図書館木製備品購入及び森林環境啓発事業	4,176,522	4,176,522	0	0	0	4,176,522	0	0
5	4	公立保育所及び公立幼稚園木製備品設置事業	7,128,000	7,009,578	0	0	0	7,009,578	0	0
6	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	720,000	720,000	0	0	0	0	720,000	0
7	5	緑と人を育む　長太の大楠再生プロジェクト	1,254,000	1,254,000	0	0	0	0	1,254,000	0
9		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	1,310,000	1,310,000	0	0	0	0	0	1,310,000
計			17,031,422	16,913,000	0	1,250,700	1,192,200	11,186,100	1,974,000	1,310,000

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	みえ森と緑の県民税の使途については，本税の徴収方法を鑑みて，多くの市民の方ができる限り直接的にその恩恵を享受できる事業を重視し実施することとしたため，森林環境教育に関する事業や木育の機会を得るための施設整備事業を優先して実施した。 また，本市に広がった松くい虫被害の拡大防止に向けた取組についても，長期的・継続的な取組が必須であることから，市単独で実施するだけではなく，周辺住民や関係団体と協力し，実施することで継続的な取組となるよう工夫した。
事業実施により得られた効果	身近な森林資源である，地区保全区域内の鼓ヶ浦海岸周辺の松くい虫被害の拡大防止に取組み，市内の「災害に強い森林づくり」に寄与することができた。 新型コロナウイルス感染症の拡大によりイベントは中止となったが，県産材を活用した備品整備によって，未就学児や児童・生徒を始めとする様々な市民の方が，森林や木材について学び，ふれあい，関係を深めることができた。 また，木育活動も充実させ，「県民全体で森林を支える社会づくり」に寄与することができた。
情報発信への取組	事業の実施前においては，市広報やHP，SNS等を活用し，みえ森と緑の県民税の活用について周知を図った。また，本事業に関する竣工式やイベント等の主催者挨拶では，みえ森と緑の県民税活用事業であることを周知し，可能な限り市政記者クラブへの情報提供も行った。 事業実施の際は，県民税リーフレットの配布や県民税旗を掲出するなど，周知に努めた。 また，県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての紹介展示を農林水産課窓口にて実施し，来庁者への情報発信を行った。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・事業の効果のチェックにアンケートを用いておられるのは評価できます。県産材を用いた木製品の設置をされていますが，県産材を用いる意義をより詳しく情報発信していただくようにお願いいたします。 ・シンボリックな木々の保護や、写真展の開催など、市民意識の醸成に力を入れる取り組みは高く評価できるものです。今後も継続と発展を期待します。 ・森と緑の生涯学習講座など，社会教育事業と連携した取り組みはよいと思う。 ・多岐にわたる取り組みであり、多様な主体が参加しており、それぞれの効果を高く評価します。一方で、各取組が鈴鹿市民にどう映っているのか、全体として取り組んでいる施策を体系化し、鈴鹿市の森林活動としての周知ができるとよい。 ・本委員会からの意見に応えて、特に情報発信度について真摯に改善し事業効果を高めている事業があった点が評価できた。 ・どこの地域にでもあると思われる名木・古木の維持を事業として実施することは、多くの市民等にこの県民税の活用が周知できるのではと思う。（取材など） ・夏休みを利用した公民館での木工や、図書館・保育所などへの木材利用、地域に残る古木の保存など多岐にわたる活動は評価できる。松枯れ対策を実施しているがその効果を示して頂くと良い。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	暮らしを守る森林保全事業	3.3	B	3.2	B	3.3	B	2.7	C
2	3	森林環境教育支援事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
3	3	森と緑の生涯学習講座	3.6	A	3.3	B	3.3	B	3.0	B
4	4	図書館木製備品購入及び森林環境啓発事業	3.5	A	3.2	B	3.2	B	3.4	B
5	4	公立保育所及び公立幼稚園木製備品設置事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
6	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
7	5	緑と人を育む　長太の大楠再生プロジェクト	3.4	B	3.2	B	3.4	B	3.2	B

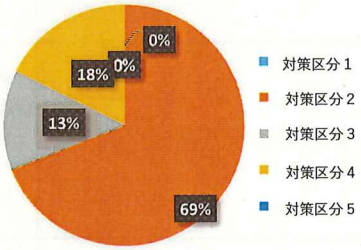
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	亀山市	三重県
人口（人）	49,904	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	13.7%	12.4%
森林面積(ha)	12,034.48	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	11,680.86	348,833.49
森林率(%)	63.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.1	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	8,116,947	7,687,000		7,687,000				
2	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	498,300	498,300			498,300			
3	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	1,008,338	1,000,000			1,000,000			
4	4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	1,280,718	1,271,050				1,271,050		
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備	700,920	685,650				685,650		
計			11,605,223	11,142,000	0	7,687,000	1,498,300	1,956,700	0	0

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	市民が里山・竹林の整備を実施できるように機械を貸し出すことで、民家周辺の生活環境の向上を図る。また、集落周辺の危険木の伐採を行い、市民が安全・安心に暮らせるように「暮らしに身近な森林づくり」に取り組む。更に、森林環境教育・木育が行える場を整備することで、森林や木材について学ぶ機会を幅広い年代に提供し、森林や木材と人との関係を深める。
事業実施により得られた効果	市民自らが里山・竹林等の環境整備を行い生活環境が良くなったことと、危険木を伐採したことから市民の安全・安心に大きく寄与できた。また、今年度はコロナ禍の中、協議会が工夫を凝らし、多くのイベントを開催したことで幅広い年代の市民等が多く参加され、森林とふれあう場を提供できた。森の講座を開催したことで、参加した方が今後、地域の森林整備に携わるきっかけが作れた。更に、幼稚園・保育園で木育教室を開催し、園児たちが木にふれあったことで園児たちの豊かな心を育むことができた。また、森林公園やまびこを森林環境教育を行える場として活用するために、老朽化している八橋を補修したことで公園の利用者や野外体験学習の場として活用している加太保育園の園児たちが安全・安心に利用できた。
情報発信への取組	市ホームページにイベントや木育に関する開催結果等や市広報にて募集案内等を掲載。また、テレビの行政情報番組で木育などの取組を放送し多くの市民に周知できた。報道機関に取材を依頼し紙面に掲載されたことで県民に対して税事業の取組を知らせられた。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・環境教育的な試みの拡充を期待しています。 ・亀山市の「木材」を切り口に、多様な市民が参加できる取り組みがされています。全体として亀山市の木材、森林をどうしたいか、事業方針にあるメッセージ（森林と木材と人との関係を深める）が情報発信されるとよい。各事業の成果・効果については周知をもろもろされていますが、参加していない市民が参加したくなるように、多様な参加の場、方法があることを伝えられるとよい。 ・森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）では、産・学・官・民が協力して開催している点が評価できた。 ・「集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）」において、精算資料の単位が時間になっていることから、単価の妥当性の判断が困難だった。 ・危険木除去と子供たちが木に触れる機会をつくる事業をバランスよく取り組んでおり評価できる。 ・森林整備は譲与税を用いた取り組みが進んでいるようである。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	集落周辺の森林整備事業（危険木等伐採）	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.6	C
2	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	2.9	B	2.9	B	3.0	B	3.1	B
3	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	3.5	A	3.3	B	3.4	B	3.4	B
4	4	森と木材のふれあい事業（木とふれあう）	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.4	B
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備	3.2	B	3.2	B	3.3	B	2.7	C

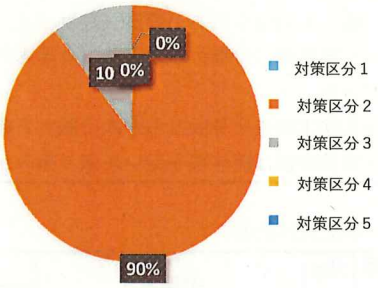
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	いなべ市	三重県
人口（人）	45,345	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	12.3%	12.4%
森林面積(ha)	12,808.21	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	11,738.79	348,833.49
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8.1	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	危険木の除去事業	3,298,790	3,298,790		3,298,790				
2	2	危険木の除去事業（主要道路）	12,554,300	6,000,000		6,000,000				
3	3	中学校卒業記念品配布事業	871,750	871,750			871,750			
4	3	森林環境教育支援事業	191,869	191,869			191,869			
6		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	536,591	536,591						536,591
計			17,453,300	10,899,000	0	9,298,790	1,063,619	0	0	536,591

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらう。 豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指す。
事業実施により得られた効果	住民自らが危険木除去の要望をすることで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。 また、間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことが出来た。
情報発信への取組	市HPにおいてみえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真とともにわかりやすくPRしている。また、中学校卒業記念品配布事業では、生徒にはメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。

＊評価の参考として、別紙「森林環境譲与税事業の実績」を添付すること。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・資料の写真が少なく、また、不鮮明なものがあり、判断が困難です。 ・卒業記念品は市民にも親しまれている様子がうかがわれ、今後も継続を期待します。 ・複数年続く卒業生への記念品と言うことで、一定の意義は感じられるが１人あたりに換算すると1,750円程度となり、少し高く感じることと出来上がった製品のみを受け取るということで教育的な意義についても改善の余地があるように思える。 ・概ね事業目的に沿った事業が行われている。 ・危険木の除去を通して、地域住民の関心を高める場を作るなど工夫がされています。中学卒業生の記念品の寄贈や小学生を対象にした森林環境教育が実施されていますが、記念品を渡すこと、学習を行うことが目的ではなく、児童・生徒に自分ごととしていなべの森林、三重の森林を捉え、行動する人になることが目的だと思いますので、そのゴールを見定めた学習、事業の展開の検討をしていただきたい。そのために、児童・生徒へのアンケートや継続実施の効果を図る指標が必要ではないでしょうか。 ・写真が少ない。 ・みえ森と緑の県民税市町交付金によって事業が進められていることを、直接の受益者以外にも広く周知できるよう、広報誌への掲載など情報発信方法も検討していってほしい。 ・４の森林環境教育支援事業の報告については、どのようなテーマで実施した等の具体的な記載をお願いしたい。 ・中学校の卒業記念品配布は長年続けられ、地域の事業体や福祉施設との連携も素晴らしいと考える。 ・昨年積み立てられた大きな金額が主要道路沿いの危険木除去に使われているが、明細がなく事業が効率的に行われたか分からなかった。添付資料の表記に工夫されたい。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木の除去事業	3.0	B	3.0	B	3.1	B	2.6	C
2	2	危険木の除去事業（主要道路）	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.7	C
3	3	中学校卒業記念品配布事業	3.4	B	3.2	B	3.4	B	3.2	B
4	3	森林環境教育支援事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B

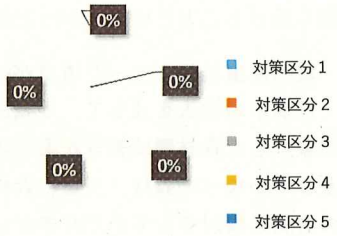
令和2年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	木曽岬町	三重県
人口（人）	6,151	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	9.7%	12.4%
森林面積(ha)	0.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.0	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．　令和2年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	15,349,000							15,349,000
計			15,349,000	0	0	0	0	0	0	15,349,000

３．　年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	当初、中学校での森林環境教育事業や、社会福祉施設の改修工事が予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止や、計画方針の変更により県民税は活用しないこととなりました。また、令和元年より発生したクビアカツヤカミキリの被害に対処するため、令和３年度から「暮らしを守る緑保全事業」に取り組めるよう基金積立を行いました。
事業実施により得られた効果	―
情報発信への取組	今年度において、実施した事業はありませんでしたが、みえ森と緑の県民税活用事例を紹介するパネル展示を通年実施しているほか、県民税の制度内容を周知するポスターの掲示やリーフレットを配架して情報発信に取り組みました。

＊評価の参考として、別紙「森林環境譲与税事業の実績」を添付すること。

５．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・住民に愛される鍋田川の並木のため、適切なご判断であったと思います。 ・コロナ禍で森林環境教育事業等に制約があったことは仕方ないと考えるが，当面は同じような状況が繰り返されることが予想されるので，対応を工夫してほしい。 ・今年度事業実施ができなかったため、他市町の取り組みから、地域性を活かした地域課題解決のための事業を検討していただければと思います。次年度予定されている「クビアカツヤカミキリ」の被害対処の事業に関しても、作業のみならず、地域住民への周知啓発、児童・生徒への学習プログラム等多様な主体を対象とした事業を計画していただきたいです。 ・今年度は実施されなかった点が残念だった。 ・新型コロナウイルスの影響により、森林環境教育事業ができなかったとのことであるが、様々な工夫をしている市町もあるので参考にされたい。

６．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
		評価対象事業なし	－	－	－	－	－	－	－	－

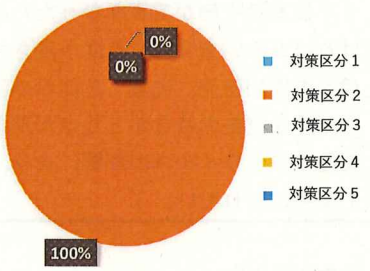
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	東員町	三重県
人口（人）	25,538	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	13.2%	12.4%
森林面積(ha)	177.13	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	177.13	348,833.49
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	15.7	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	危険木伐倒等業務	1,481,700	1,462,000		1,462,000				
2	4	みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	5,000,000	5,000,000						5,000,000
計			6,481,700	6,462,000	0	1,462,000	0	0	0	5,000,000

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	平成26年度に実施した危険木の調査に基づき、人家裏や通学路沿いなどで、これまで整備が進みにくく荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象として、倒木になる恐れのある危険木の除去・間伐を計画的に行い安心・安全なまちづくりを図る。
事業実施により得られた効果	森林環境の保全及び地域住民の意識の醸成が図られた。現地（民家裏等）での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。
情報発信への取組	工事看板に「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会への施工周知回覧に事業の概要についても掲載。 その他、町のＨＰ・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・引き続き住民の安全に向けた活用を期待しています。 ・概ね事業目的に沿った事業が行われている。 ・危険木処理の意義は理解できるが、将来に向けた前向きな事業も実施してほしい。

6．事業別評価表

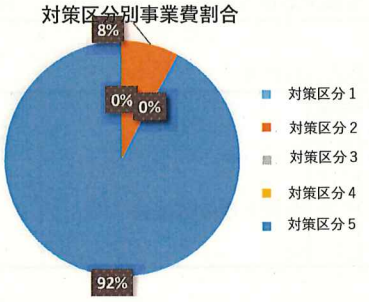
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐倒等業務	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	菰野町	三重県
人口（人）	40,463	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	14.2%	12.4%
森林面積(ha)	5,348.67	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	5,272.74	348,833.49
森林率(%)	50.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	4.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	1,568,600	746,000		746,000				
2	2	危険樹木事前伐採事業	1,158,577	289,645		289,645				
3	5	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	30,107,000	12,180,623					12,180,623	
計			32,834,177	13,216,268	0	1,035,645	0	0	12,180,623	0

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.08	1,158,577	289,644	小島地内16本伐採

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	菰野町では、「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するという「みえ森と緑の県民税」の趣旨に則り、「災害に強い森林づくり」では防災・減災の観点から病虫害被害により倒木の危険が高まっている危険木を伐採する事業を行い、「県民全体で森林を支える社会づくり」では菰野町民にとって身近な山である菰野富士を活用し、バリアフリー木道を設置し、誰もが森林と緑に親しむことのできる環境整備を行い、自然体験や自然学習を通じて自然とのふれあいを深めるため整備を行っている。
事業実施により得られた効果	公共の道路に倒木の可能性がある危険木を事前伐採することにより、通行者に対する安全の確保及び電線断線の危険の排除ができた。また、病虫害による被害拡散を防止することができた。
情報発信への取組	伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。菰野富士の現場では、さらに立て看板を設置することにより、PRを行っている。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・住民の生活に直結する事業をされており、引き続き有効に活用されることを期待します。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。効率的な執行にも配慮されている。 ・病虫害被害木材と危険樹木伐採作業という、人間の暮らしへの被害対策の事業が多かった。地域住民に情報発信をする際に、事業によって安全・安心の生活空間を得たことと、地域でどのように森林を管理すればよいのか、森林と人のつながりを感じ共生はどうあるべきか、といった内容をがあるとよいのではないでしょうか。菰野富士は、自慢の風景、場であり、菰野富士と近しくなること、菰野富士に訪れる人が多くなることで、先に記述した「森林（山）と人間の共生」のために必要なことを考え、本県民税の価値、意義が伝わるとよい。 ・整備した木道の安全基準について、町とともに県においても確認し、安全性の確保に務めてほしい。また、利用者に向けた安全基準の表示について検討されたい。 ・菰野富士ふるさとの山環境整備事業については、景観を保全しつつ、自然を楽しんでもらえる取り組みとなっている点が評価できた。 ・効果など具体的に記載がなされている。 ・毎年、菰野富士のバリアフリー遊歩道に大変大きな金額を割かれているが、これまでの投資の成果をまとめて頂きたい。また今後この施設をどのように活用、維持させるのか示して頂きたい。森林内の木製遊歩道はメンテナンスを怠ると、老朽化が進み使えなくなる事例がいくつもある。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	3.4	B	3.2	B	3.1	B	3.2	B
2	2	危険樹木事前伐採事業	3.2	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B
3	5	菰野富士ふるさとの山環境整備事業	3.2	B	3.0	B	3.0	B	2.8	C

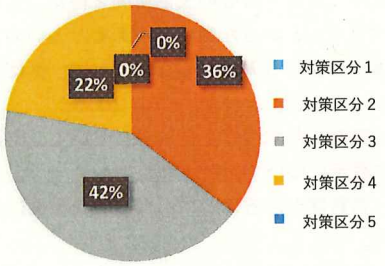
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	朝日町	三重県
人口（人）	11,033	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	18.9%	12.4%
森林面積(ha)	63	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	63	348,833.49
森林率(%)	11.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	2.1	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	2,478,036	2,381,000			2,381,000			
2	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	1,821,600	1,200,000				1,200,000		
3	4	森と緑を大切に思う人づくり事業	44,000	40,000				40,000		
4	2	みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	2,000,000	2,000,000		2,000,000				2,000,000
計			6,343,636	5,621,000	0	2,000,000	2,381,000	1,240,000	0	2,000,000

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	当町は町の面積が小さく森林面積も小さいが、森林面積に占める竹林面積割合が約25%となっており、県内一である。また、人口が急増しており年少人口割合が三重県一高い。以上から、当町では竹を活用した事業と年少者やその親を意識した事業を展開している。 また、他の事業（東海道まちなみ整備など）との連携を図り、相乗効果に繋がるよう事業展開をしている。
事業実施により得られた効果	継続事業である幼保一体化施設の緑化、木のおもちゃの購入は例年通り着実に実施し、保護者・保育者の双方において当事業への理解は深まっていると考えられる。 新規事業である竹プロジェクトは、全ての事業でアンケートを実施しており、いずれも事業自体が高評価であるとともに竹・竹林に対する認識が深まったとの回答が多数であった。また、町がこのような事業を実施していると広まったことから、竹林に対して問題意識を感じている方々から直接様々な声が寄せられることとなり、今後、有志による竹林整備団体の組成に向けて候補者となり得る方々とのネットワークができつつある。
情報発信への取組	継続事業である幼保一体化施設の緑化、木のおもちゃの購入については例年通り看板、備品への焼き印、ホームページ等でみえ森を使った取組であることを周知した。 新規事業である竹プロジェクトは、「竹あかり」という視覚効果の高い事業を中心に据えつつ、町民みんなで取り組んでいくというコンセプトを軸に、メディアに対し戦略的に情報提供を行った結果、地元ローカルCATVのみならず新聞、ラジオ、NHKに取り上げられ、効果的な情報発信につながった。 また、竹あかりの展示イベントは親子で作った竹あかりの展示の場にする等、子育て世代が主体的に参加するよう工夫した結果、多くの子育て世代の参加があり、インスタグラム等SNSを通じた個人による情報発信にもつながっている。

５．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・アンケートによる事業内容のチェックをされていること。竹林整備団体形成へのきっかけを作っていることは評価できます。 ・二次的自然の管理保全にむけた啓発事業として、竹あかりプロジェクトに期待します。さらなる普及・拡充とともに、朝日町の文化として将来的には竹材調達も住民の手によるものとなることを願っています。またあさひ園の園庭緑化事業も、環境教育上たいへん良い取り組みであると評価します。芝生が今後も末永く維持管理されることを期待しています。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。竹プロジェクトは竹林整備団体の立ち上げにつながることを期待する。 ・幼児とその家族を対象にした事業、竹を使った事業、地域性を踏まえた内容で高く評価します。継続されている芝生緑化の事業も他事業と連携がされ、芝生（みどり、自然）→木のおもちゃ（森、木、自然）→竹あかり（森、竹、自然）とつながっていてとてもいいです。幼児やその家族がそのつながりを実感できるように少しメッセージを添えるなどして届けるとよいと思います。また、竹あかりの事業ではアンケートをとっていますが、継続実施している事業についてはアンケートをとり、利用者の反応や事業の効果を把握してはどうでしょうか。せっかく、体系的になりつつある事業ですので、次の展開とまた周知の方法を検討されるとよいのではないでしょうか。 ・広報誌などでも「みえ森と緑の県民税」の活用を周知することが望ましい。 ・１の事業については特に、事業実施により得られた効果や情報発信への取り組みについて具体的な記載がなされている。 ・森林率の低い町における、この税の使われ方に難しさを感じる。 ・森林が少ない県北部地域では芝生化やその維持に予算が多く割かれているが是非、森と私たちの暮らしのつながりに気づくきっかけとなるような事業を行って欲しい。

６．事業別評価表

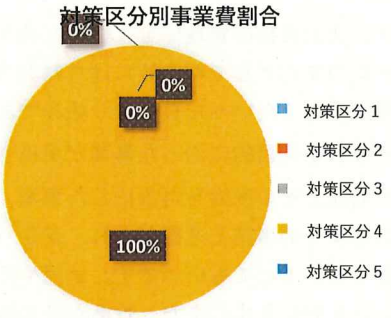
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	3.5	A	3.2	B	3.3	B	3.7	A
2	4	森と緑とふれあう環境づくり事業（幼保一体化施設）	2.9	B	2.8	C	3.1	B	2.8	C
3	4	森と緑を大切に思う人づくり事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	川越町	三重県
人口（人）	15,283	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	14.3%	12.4%
森林面積(ha)	0	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	0	348,833.49
森林率(%)	0.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.3	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	4	総合センター机・椅子等整備事業	5,298,315	5,253,000				5,253,000		5,298,315
2	4	総合体育館荷物置き棚及び案内掲示板整備事業	224,290	224,000				224,000		224,290
3	4	中央公民館木製司会台等整備事業	346,390	346,000				346,000		346,390
計			5,868,995	5,823,000	0	0	0	5,823,000	0	5,868,995

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0.0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0.0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.0	0	0	

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	当町には森林がないため、直接的事業ではなく、木との触れ合いを通じて、木について学ぶきっかけや、森林や木材への理解や関心を深めると共に、木の温もり、肌触りや香りを身近に感じてもらう公共施設等の木質化を重点に推進する。 令和２年度においては、「対策区分3.森を育む人づくり」として、自然教室を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、令和3年度以降は、まん延状況を見ながら、感染予防対策を講じたうえで事業を継続したい。
事業実施により得られた効果	県産材を使用することにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に身近に感じてもらことができ、木材利用に対する理解や関心が深まった。
情報発信への取組	当町のホームページ、広報（「広報かわごえ」）や行政番組（「情報満載！かわごえ」）を利用して「みえ森と緑の県民税市町交付金」について情報提供を行いました。

５．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・たとえば森を題材にした写真展や絵画展の開催など、教育・啓発事業についてもご検討ください。 ・今後は木製品が導入された空間を活用して木育や森林環境教育活動も行ってほしい。 ・森林のない町で、「木製製品をなぜ使うのか」をしっかり考えることの事業になるといい。木のぬくもりや香りを感じることの大切さもありますが、流域という視点で山と海と川のつながりや、森林（山）が管理されていないと流域の人々の暮らしに影響があることを伝える機会があるといい。下流域に暮らす人々が上流の森や山、木々を想像し、暮らしを変容することが大切です。本県民税のパネル展示もしていただいていますが、あわせて川越町としてのメッセージを発信していただけるとよいのではないでしょうか。周知啓発の内容と手段を検討ください。 ・すべての事業で多くの媒体を活用して情報発信していた点が評価できる。 ・森林割合０％の町での工夫をしていることはわかるが、この税の使われ方に課題を感じる。 ・昨年度は新型コロナ禍の為森を育む人づくり事業ができなかったとのことであるが、様々な工夫をしながら実施している市町もあるので参考にされたい。

６．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	4	総合センター机・椅子等整備事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.1	B
2	4	総合体育館荷物置き棚及び案内掲示板整備事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
3	4	中央公民館木製司会台等整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B

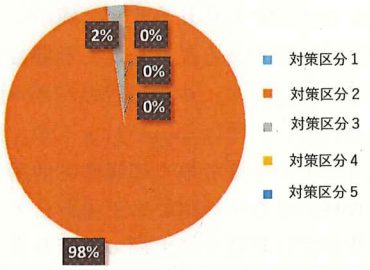
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	津市	三重県
人口（人）	275,223	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	41,560.61	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	40,820.03	348,833.49
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7.6	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	津市林地残材搬出促進事業	30,428,800	30,420,600		30,420,600				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,323,737	1,000,000		1,000,000				
3	3	津市森林環境教育事業	499,400	499,400			499,400			
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	250,000	250,000			250,000			
計			34,501,937	32,170,000	0	31,420,600	749,400	0	0	0

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業	61.93	36,337,400	36,337,400	
森林再生力強化対策事業	5,364m	3,650,000	3,650,000	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.1	3,094,673	773,667	

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	・間伐等で発生する林地残材等を搬出し、木質バイオマスとして利用を図ることで、林地残材の減少を図り、河川等への流出を防ぐことで流木を出さない森林づくりを進める。 ・木のぬくもりや良さを知ってもらい、森林や木材について学び、林業の現場での体験を通して正しく理解してもらい、自らが進んで森林環境教育に取り組める人材を育てていく。
事業実施により得られた効果	・林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 ・直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。
情報発信への取組	・事業実施個所については、税ののぼり旗により啓発を行った。 ・県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。 ・森林環境教育の参加者の募集方法として、「美里水源の森林業体験事業」は市内の小学４，５年生の児童の保護者へチラシを配布し、「お正月版　森と緑の親子塾」「里山整備体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。 ・アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。 ・マスコミによる取材があり、後日、イベントの様子が配信された。 ・市町交付金事業のパネルを市役所庁舎に掲示し、PRを行った。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・引き続き住民の安全に有効な活用を期待しています。 ・林地残材搬出促進事業については、バイオマス原料が本税ありきの事業として長期依存体制に陥らないような運用にご留意ください。 ・概ね事業目的に沿って事業が実施されている。 ・林地残材の処理、危険木の伐採など、人間の管理不足によって起きている問題と、一方で、森と緑に親しみながら楽しみ学ぶプログラムを実施されていて、それぞれ津市の森林で起きていることを知るための重要な機会だと捉えました。参加した人たちだけでなく、多くの地域住民、市民にこの状況をどう伝えていくか、が重要です。情報発信の方法や情報発信の内容の改善、「イベントをしました」という報告だけでなく、森林教育により、津市の現状とあるべき姿をしっかり伝えるることができるとよい。本県民税のパネル展示をされているが、その際に津市の森林環境に関するメッセージなども掲示してもよいのではないでしょうか。 ・引き続き，継続的な取り組みを期待します。 ・体験や森林環境教育事業の内容は評価できる。 ・大半の予算がバイオマス材の搬出助成に充てられている。他の市でも同様の事業はあるがもっと小規模ないわゆる「スモールフォレストリー」を支援するような仕組みである。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	津市林地残材搬出促進事業	3.2	B	3.0	B	3.0	B	3.0	B
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
3	3	津市森林環境教育事業	3.5	A	3.2	B	3.2	B	3.3	B
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B

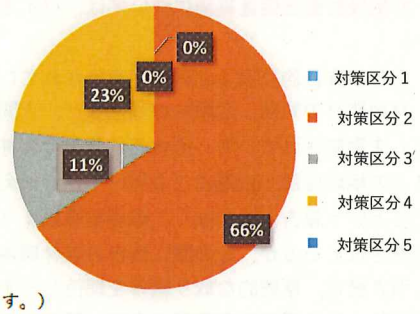
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	松阪市	三重県
人口（人）	161,900	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	12.3%	12.4%
森林面積(ha)	42,652.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	41,300.00	348,833.49
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.3	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	14,910,500	14,861,500		14,861,500				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	8,400,000	2,100,000		2,100,000				
3	3	森林環境学習事業	2,887,500	2,887,500			2,887,500			
4	4	幼稚園木育推進事業	2,200,000	2,000,000				2,000,000		
5	4	都市公園整備事業	6,140,200	4,000,000				4,000,000		
計			34,538,200	25,849,000	0	16,961,500	2,887,500	6,000,000	0	0

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	4.0ha	7,744,000	7,725,000	調整伐200本、伐倒・搬出356本
森林再生力強化対策事業	5,332m	3,137,522	3,137,522	防護柵補助5,332m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.5ha	8,400,000	2,100,000	危険木伐採447本

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	松阪市ではみえ森と緑の県民税市町交付金の活用主旨に則り「災害につよい森林づくり」を目指しつつ川上から川下まで普く当該交付金を有効に活用すべく5つの事業を実施した。 １．里山の森林安全安心対策事業…民家裏、重要施設付近、幹線道路沿線等において懸案となっている支障木を伐採し、住民の安全安心を確保する目的で実施。 ２．森林環境学習事業…将来の森林の担い手を育成することを目的に、管内小学校を対象に森林環境教育を実施。 ３．都市公園整備事業…都市公園内に地域産の東屋・ベンチを設置し利用者に木の持つ「温かみ」「やすらげる空間」を提供すると共に木材利用に繋げるという目的で実施。 ４．幼稚園木育推進事業…市内の幼稚園の備品を木質化し、幼少期より木との関係を深める。 ５．災害からライフラインを守る事前伐採事業…台風や近年多発するゲリラ豪雨等による倒木被害に起因する停電被害を防止すべく、リスクマネジメントの一環として、被害想定箇所の事前伐採を実施し、県民・市民の安全安心を確保する。
事業実施により得られた効果	里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。 森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場においての環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。
情報発信への取組	森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のＰＲチラシ配布し積極的な啓発を行っている。 森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上やテレビ放映において、情報を発信した。 又、森林環境学習の一環で幼児から小学生向けの森林環境教育用の絵本を昨年度作製し、市内全小学校・保育園・幼稚園に配布を行い、絵本を活用した環境学習の推進に努めたが、令和２年度においても第２弾となる絵本を企画し、令和３年度に製本予定である。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・木質化の教育効果に期待しています。全般に、webからの情報発信をご検討ください。 ・幼稚園木育推進事業で購入されている備品は、非常に高額であると思う。物や使用箇所によっては、間伐材などを利用して、安く多く使用するなど可能に思える。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されているが，都市公園整備事業については効率性の観点で少し疑問が残る（積算資料も見当たらなかった）。 ・幼児から小学生、自主防災組織、自治会長など地域住民と幅広い対象の事業を実施され、また下流域から上流域までを意識して、それぞれの地域や状況に合わせて事業を組み立てられていてとてもいいです。松阪市の森林環境の状況をいろいろな方法で事業展開されていて評価できます。課題はいかに関わっていない市民に伝えるか、参加を得るか、当事者意識を育むことが出来るか、です。また、木質化された学習環境での森林環境教育が学びで終わることなく、行動変容につながるようにいかに継続進化させていくかです。地域で事業展開を検討できる主体（コミュニティ）ができるといいです。絵本での展開が楽しみです。オリジナル木製プレートとてもかわいいです！ ・環境教育について、さまざまな工夫がされていた。 ・３の事業で事業終了後に絵本を作成し「森のはたらき」等を周知する取り組みは良い。 ・「森林環境学習事業」において、物品購入等に充てられた経費の内訳はあるが、木育などに対する費用の内訳が明記されない。 ・松阪市内には多くの林業事業体や製材所、木材加工、木質バイオマス発電所もあり、県内林業の中心地でもある。 ・主に製材所の若手の組織である松阪地区青和会では新型コロナウイルスの影響もあり大きな行事は難しい中、家でできる木工を動画配信するなど木育活動にも積極的に取り組んでいる。市としてもこうした市内のメンバーとうまく連携した事業を進めて頂きたい。

6．事業別評価表

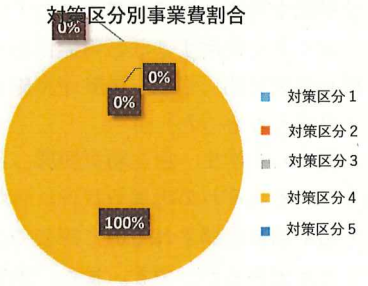
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	里山の森林安全安心対策事業	3.3	B	3.0	B	3.2	B	3.0	B
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B
3	3	森林環境学習事業	3.4	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
4	4	幼稚園木育推進事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	2.9	B
5	4	都市公園整備事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.7	C

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	多気町	三重県
人口（人）	14,345	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	12.8%	12.4%
森林面積(ha)	5,915.33	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	5,915.33	348,833.49
森林率(%)	57.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	23.2	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	4	木とふれあう環境づくり事業	4,945,600	4,945,600				4,945,600		
2		基金積立	2,564,400							2,564,400
3										
4										
5										
6										
7										
計			7,510,000	4,945,600	0	0	0	4,945,600	0	2,564,400

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	5.79	1,731,400	1,550,000	
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	県産材を利用した備品等を配置することにより、次世代を担う子供たちに地域資源である木の素晴らしさを再認識できる事業にする。
事業実施により得られた効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、中学校、地域公共施設（勢山荘）に配置したことにより、木と緑にたいする関心が高まり、また森林のしくみを紹介した看板を設置（勢山荘）したことにより、森林を身近に感じることができるようになった。
情報発信への取組	多くの地域の方に、木製備品の素晴らしさを実感してもらうため広報誌等でアピールしていきたい。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・木製備品の維持管理にも期待しています。 ・小中学校に備品として設置されている木製製品は、木製ベンチが1つ280,000円（？）など非常に高額であると思う。物や使用箇所によっては、間伐材などを利用して、安く多く使用するなど可能に思える。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。（木製遊具はやはり高額だと思うが，安全面を考慮した基礎工事に費用がかかるのだとすると，仕方ないのかとも思う） ・設置した学校の児童・生徒や、公共施設の利用者へのアンケートを取って、反応や効果を把握してはどうでしょうか。なぜ木製の備品を設置したのかを丁寧に伝える媒体、機会があるといい。 ・情報発信に工夫をされていた点が評価できる。 ・木製備品の導入に大きな予算を割かれているが、尾鷲市のように森林環境教育と木製備品の導入は合わせて行って頂きたい。 ・多気町はどちらかというと林業より農業が中心と思うが、竹も含む森林資源をどのように活用してゆくか方針を立てて、その中で木材利用を進めるような取り組みを期待したい。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	4	木とふれあう環境づくり事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	3.0	B

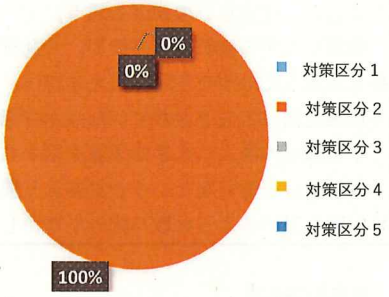
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,563	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	13.1%	12.4%
森林面積(ha)	310.97	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	310.97	348,833.49
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.0	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	松林整備事業	1,403,600	1,403,600		1,403,600				
2		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	5,941,400	5,941,400						5,941,400
計			7,345,000	7,345,000	0	1,403,600	0	0	0	5,941,400

３．　　年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	税を活用することで、多くの地域住民に安全・安心な環境を提供する。
事業実施により得られた効果	防風林としての役割を持つ松林の、松くい虫被害拡大を防ぐとともに、枯損木による危険低減させることができた。
情報発信への取組	広報誌や町ホームページ等にて事業の取り組み状況について情報発信を実施。 ホームページの上位に表示されるよう頻繁に更新を行ったり、写真等画像を多くしたり工夫をした。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・多くの受益者があり、効果的に活用されているものと高く評価します。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。薬剤散布した箇所（写真3・4）は，写真でみる限りかなり荒れた林になっているので，人々の憩いの場とするのであれば少し整理が必要なのではないか。 ・地域課題として「松林の立ち枯れ」は重要です。一方でそれ以外の事業を、他地域の事例を参考に検討もしていただけるといい。 ・昨年度迄毎年学校への木製備品の導入がされ、森林環境教育を合わせて行って頂きたい旨、コメントしていたが、昨年度の納入してきた机を廃棄し既存の物と入れ替えると報道された。他の市町ではメンテナンスを行い、それも子ども達の学びの場としており、明和町の事例は不適切であると言わざるを得ない。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	松林整備事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.0	B

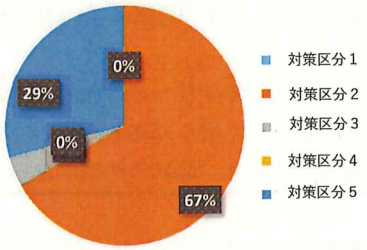
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	大台町	三重県
人口（人）	8,975	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	9.8%	12.4%
森林面積(ha)	33,760.45	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	27,941.63	348,833.49
森林率(%)	93.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.0	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	18,008,659	4,500,000		4,500,000				
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	4,700,300	4,533,000		4,533,000				
3	3	森林環境教育事業	728,200	550,000			550,000			
4	5	森とのふれあい空間整備事業	4,001,800	3,950,000					3,950,000	
計			27,438,959	13,533,000	0	9,033,000	550,000	0	3,950,000	0

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	78.84ha	28,039,000	27,596,000	災害緩衝林事業の周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	4,411m	3,215,891	3,215,000	獣害防護施設設置に対する補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.15ha	18,008,659	4,500,000	ﾗｲﾌﾗｲﾝを寸断する恐れのある樹木の事前伐採

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	「みえ森と緑の県民税」の趣旨である「災害に強い森林づくり」の推進については、防災減災対策の事業として、道路沿いに設置されたライフライン（電線）を風倒被害から守るための事前伐採、集落周辺や人家等への風倒被害を未然に防ぎ、住民の安全・安心を確保するため、人工林を帯状に間伐する事業を実施した。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進については、地元の高校生を対象に森林や林産物などを学習する場としてキノコ栽培の実習、奥伊勢フォレストピア等の観光客が森林とふれあう場の環境整備として町有林の整備を実施した。
事業実施により得られた効果	災害からライフラインを守る事前伐採事業については、三重県、電力会社との共同の取組として、また集落周辺等危険木伐採事業については、地元区長からの要望等の聞き取りにより実施するなど、各関係機関と連携を図りながら実施することにより、地域住民の安全・安心の確保につながった。森林環境教育事業については、農林業を専攻する高校生を対象として実施したことにより大台町の森林や林産物への関心や理解を深めることができたと好評を得た。
情報発信への取組	災害からライフラインを守る事前伐採事業については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙面やテレビ放映により、県民税を活用した事業の趣旨等の情報発信を行った。森とのふれあい空間整備事業については標柱の設置、環境学習については高校生に対して県民税の趣旨説明、その他の事業についても施工中ののぼり旗等の設置や町広報紙、町ホームページによる情報発信を行っている。

５．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・いずれも意義深い取り組みであり、引き続き本税が有効活用されることを期待しています。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。 ・人間に被害もたらす森林空間の改善、人間に恵みをもたらす森林環境の利用の両側面からの事業展開であり、高く評価します。一方で、町民にどう伝えるか、町民が参加できる場をどう作るかなど少し工夫して情報発信していただけるといい。 ・広葉樹は、伐採時に枝の一部を残すことで樹木を枯死させず、その根系による土砂の崩壊防備機能を保持することが期待できることから、危険木等の伐採にあたり一律に根元から伐採することを避けるなど、状況に応じた伐採方法についても柔軟に検討されたい。 ・森林率の高い地域性と農林を専攻する高校生への取り組み、透明性の高い費用の明細など、この県民税を有効に活用している町であると評価できる。 ・これまで先行して取組んでいただいていた、ライフラインを守る事前伐採に加え森林環境教育や、人々が森林に触れる場所の整備にも取り組んでいることは評価できる。

６．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.1	B	3.2	B
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
3	3	森林環境教育事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
4	5	森とのふれあい空間整備事業	3.0	B	2.9	B	2.9	B	3.0	B

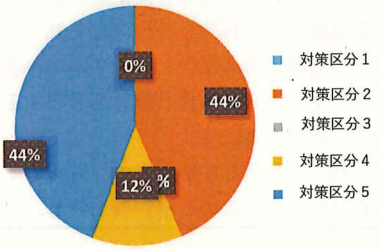
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	123,911	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	11.9%	12.4%
森林面積(ha)	10,956.43	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	10,956.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.3	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	森林整備事業	4,787,200	4,787,200		4,787,200				
2	4	みなと小学校家具製作事業	1,340,680	1,340,680				1,340,680		
3	5	みなと小学校整備事業	4,835,600	4,835,600					4,835,600	
4		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	4,186,520	4,186,520						4,186,520
計			15,150,000	15,150,000	0	4,787,200	0	1,340,680	4,835,600	4,186,520

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
森林再生力強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	伊勢市では、「みえ森と緑の県民税市町交付金」の活用主旨に則り、3つの事業を実施した。 ① 森林整備事業 伊勢市の沿岸部には、防風林として松林が広がっているが、近年の病害虫被害により枯れ松が激増し、保安林としての機能が低下し、倒木被害が心配されていることから、病害虫被害を未然に防ぎ、地域住民の安全や防風林の機能維持を図る。 ② みなと小学校家具製作事業 みなと小学校の児童が親しみを持って活用できる県産材を使用した木材の家具を製作・導入することにより、木の温もりを感じ学べる環境をつくる。 ③ みなと小学校整備事業 伊勢市大湊町地内において、神社小学校・大湊小学校の統合小学校を新築するにあたり、校舎周辺を緑化することにより、児童及び地域住民に身近な緑の環境を提供する。
事業実施により得られた効果	① 病害虫被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ること出来た。 ② 県産材を使用した棚・いすを学校に配置することで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことが出来た。 ③ 植樹祭を開催し、木を植え育てる大切さを学ぶことが出来た。
情報発信への取組	当事業全般については市HPにおいて紹介していく。また事業ごとに、以下の方法で実施。 ①施行前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施行期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。 ②、③チラシを作成して、植樹祭や小学校の完成式、見学会において配布し、その中で本事業の財源が県民税であることを明示した。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・教育と産業育成につながる家具製作事業を高く評価します。今後のさらなる展開に期待します。 ・概ね事業目的に沿って実施されている。「みなと小学校家具製作事業」は地場産業育成，地域人材育成，木育といったいくつもの効果が期待できる優れた取り組みと評価する。 ・みなと小学校の家具製作事業は高く評価します。地元高校生と若手職人と小学生のコラボで導入したという点が特にいいです。また、作成されたパンフレットは広報媒体として優れています。今後、他の学校にも波及効果があるといいです。一方で、校庭の植樹にもう少し工夫があっても良かったのではないでしょうか。学校の備品である家具と植樹のつながりがもう少しあってもよいように思いました。今後検討されるかもしれないですが、森林環境教育、木育をされる際に、全体の伊勢市事業をどうつなげて、学びを展開するかが重要となります。 ・みなと小学校家具製作事業はおもしろい試みでした。 ・地域の工業高校・家具職人の任意団体との連携による取り組みは良い。 ・みなと小学校家具製作事業は地元高校生と若手家具職人が連携し、地域の木質資源の利用方法を考える上でも非常に良い取り組みだと感じた。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	森林整備事業	3.2	B	3.2	B	3.3	B	3.0	B
2	4	みなと小学校家具製作事業	3.9	A	3.4	B	3.4	B	3.4	B
3	5	みなと小学校整備事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.8	C

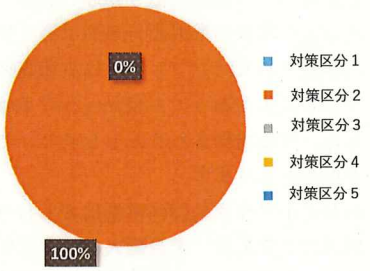
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	鳥羽市	三重県
人口（人）	17,962	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	9.5%	12.4%
森林面積(ha)	7,483.76	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	7,486.76	348,833.49
森林率(%)	70.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	10.2	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	危険木伐採事業	7,566,900	7,566,900		7,566,900				
2		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	616,100	616,100						616,100
計			8,183,000	8,183,000	0	7,566,900	0	0	0	616,100

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	鳥羽市では、森林所有者が高齢化していることに伴い、森林管理をできない所有者が増加している状況である。森林を管理できないと成長しきった樹木が倒木する恐れが生じ、市民が安全・安心な生活を送ることに支障をきたす可能性がある。現況を踏まえて、鳥羽市では町内会からの危険伐採要望を受けて、危険木の伐採を行う。
事業実施により得られた効果	危険木伐採を行ったことにより、市民が安全・安心な生活を送ることができるようになった。また、市民に小さく切った伐採木を椅子等の木工に活用してもらうことにより、木が持つぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組	危険木伐採事業を施行する前に、回覧文書を作成し、対象となる町内会に周知を図った。また、施行後には、伐採木を活用してもらうよう町内会長を通じて、協力要請を行い情報発信に努めた。 市ホームページでは、新たに県民税に関するページの作成を行い、紙ベースでの周知だけでなく、インターネットによる周知を図った。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・住民の安全確保に有効な活用がなされています。今回は選に漏れた箇所も、いずれ対応をご検討ください。 ・概ね事業目的に沿って実施されている。 ・町内会から出された「危険木の除去、伐採」は極めて重要な案件です。また、これ以外にも他地域の事例を参考に他の取組の検討をしていただければと思います。 ・広葉樹は、伐採時に枝の一部を残すことで樹木を枯死させず、その根系による土砂の崩壊防備機能を保持することが期待できることから、危険木等の伐採にあたり一律に根元から伐採することを避けるなど、状況に応じた伐採方法についても柔軟に検討されたい。 ・必要な事業が行われていると思う。 ・危険木の伐採にすべての予算を使っておられる。必要性は理解できるが前向きな事業も検討して頂きたい。足場を組んで造園業の伐採を行っているが、最近は木に登って上から切り下げてゆく特殊伐採を行う事業者もある。比較検討されたい。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.4	B	3.1	B	3.2	B	3.0	B

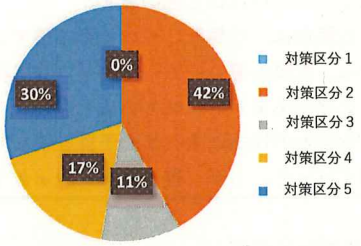
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和２年度版）」、「令和元年度版森林・林業統計」による

市町名	志摩市	三重県
人口（人）	47,100	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	9.2%	12.4%
森林面積(ha)	9,103.74	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	9,101.49	348,833.49
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	6.2	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	災害に強い森林づくり事業	3,685,000	3,684,000		3,684,000				
2	2	松くい虫防除事業	669,900	645,000		645,000				
3	3	森と緑ふれあい事業	1,135,867	1,135,000			1,135,000			
4	4	観光農園整備事業	1,771,000	1,771,000				1,771,000		
5	5	創造の森横山整備事業	3,408,900	3,088,000					3,088,000	
計			10,670,667	10,323,000	0	4,329,000	1,135,000	1,771,000	3,088,000	0

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.05	2,626,800	2,624,000	調整伐（間伐）
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病害虫の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会の創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による、森と緑ふれあい事業の取組をさらに推進する。 また、併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。
事業実施により得られた効果	① 体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。 ② 古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。 ③ 特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。
情報発信への取組	事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。 また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。 事業成果について、市ホームページで紹介する予定をしている。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・インターネットからの情報発信もご検討ください。 ・観光農園整備事業に使用されているベンチなどの木製品は、間伐材の使用などが記載されているが、非常に高額に思われる。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。森と緑ふれあい事業については，とても良い取り組みだが参加者ひとり／回のコストがかなり高額である。コロナ禍で参加者数を絞らざるを得なかったのかもしれないが，木工品代などを一部自己負担にしても良かったのではないか。 ・志摩市の地域特性（広葉樹林が多いなど）を活かし、現状課題（危険木、松枯れなど）の改善のために必要な取り組みを、また木に触れ、近しくなる取り組みを市民とともに実施しようとされていることが把握できました。志摩市の森林環境への当事者意識を育み、行政と市民が協働で管理する体制をどうつくるか、森林環境保全・管理に携わる市民をどう育むかが次の課題です。本県民税を使っての次の事業の検討をしていただきたいです。 ・アンケート調査を実施している事業については評価できた。 ・危険木除去、松枯れ対策、木材利用、森林教育とバランス良く事業が行われている。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	災害に強い森林づくり事業	3.2	B	3.1	B	3.1	B	2.8	C
2	2	松くい虫防除事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	2.8	C
3	3	森と緑ふれあい事業	3.4	B	2.9	B	3.2	B	3.2	B
4	4	観光農園整備事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	2.6	C
5	5	創造の森横山整備事業	3.3	B	3.2	B	3.3	B	2.9	B

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	玉城町	三重県
人口（人）	15,199	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	14.5%	12.4%
森林面積(ha)	1,259.02	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	1,258.77	348,833.49
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	25.7	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	3	森林環境教育・木育事業	306,900	306,900			306,900			
2	4	森林ふれあい創出事業	1,549,900	1,549,900				1,549,900		
3	4	公共施設（学び場）整備事業	4,224,000	4,224,000				4,224,000		
4		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	133,200	133,200						133,200
計			6,214,000	6,214,000	0	0	306,900	5,773,900	0	133,200

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	森林率が低い当町であるがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づく度合いが大きいと考えます。森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいとの考えに基づく。 また、教育現場での学びの場を創出することと同時に森林環境教育を実施していくことが、多くの方々に森林への関心が高まることに繋がるとの考えに基づき、実施。
事業実施により得られた効果	森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらえた。 また、木と触れ合える教育環境を児童とその保護者、指導者に感じてもらうことで、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらうことが出来た。
情報発信への取組	町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者（園児、生徒）、教員・職員からも事業に対する理解の声をいただいている。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・バランスの良い活用がなされています。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。 ・小学校で地域で、木製のものが増えたな、木の製品っていいなと小学生や地域住民が感じられるように、それぞれの事業を散在して実施するのではなく、つながっていることを伝えてください。小学校で実施した森林環境教育、木育での学びを地域の公園でも感じることができ、今回は田丸小学校と児童クラブでしたが、多くの小学校や児童クラブの木質化につながり、そのことの意味や価値が伝わるような学習展開と学びと、学習環境の改善がスパイラルアップしていく展開を期待しています。 ・森林環境教育・木育事業で、アンケート調査を実施されていることは評価できます。 ・森林環境教育と木材利用が行われていることを評価する。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	3	森林環境教育・木育事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
2	4	森林ふれあい創出事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	2.9	B
3	4	公共施設（学び場）整備事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.8	C

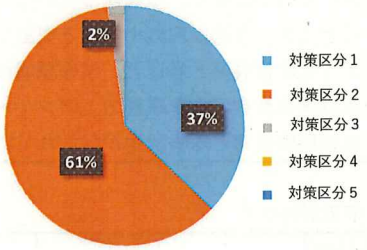
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,950	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	11.6%	12.4%
森林面積(ha)	11,410.44	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	11,410.44	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.6	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	1	流倒木撤去事業	3,245,000	3,245,000	3,245,000					
2	2	危険木伐採事業	5,293,200	5,282,000		5,282,000				
3	3	森林環境教育推進事業	199,320	199,000			199,000			
計			8,737,520	8,726,000	3,245,000	5,282,000	199,000	0	0	0

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	16.7	8,140,000	8,077,000	間伐
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	「災害に強い森林づくり」を目指し、防災・減災を図るとともに、住民に森林について学ぶ場と触れ合う場を提供する。
事業実施により得られた効果	道路沿い等については住民に危害を与える恐れのある危険木を伐採し、河川沿いについては大雨時に下流へ倒木等が流出しないよう撤去し、防災・減災に努めた。 また小学校においては出前授業を行い、森林について学ぶ場・触れ合う場を提供した。
情報発信への取組	・町ホームページ及び町広報紙により取組みを周知。 ・森林環境教育推進事業については記者提供をおこない、出前授業の取り組みを伊勢新聞（令和３年２月18日朝刊）へ掲載、ZTVでは2月22日~24日のいせトピコーナーにて放送。 ・庁舎内掲示板にて事業事例の紹介 ・現地に県民税ののぼり旗の設置

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・バランスの良い活用がなされています。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。 ・流倒木の除去、表土が流出している立木の伐採、危険木の伐採など、人が管理をしていないために起きている問題に対処し、一方で子どもたちに、いかに森林と共生するかを伝える学習を展開されており、それぞれをバラバラに実施するのではなく、前者を教材に森林・林業の大切さ、地域資源をいかに活用するかの学習がされていることを高く評価します。学習、学びを行動につなげることが重要なので、ものづくりなど木に触れる体験、楽しみ重視の体験学習だけでなく、子どもたちの実感や経験、体験が行動に結びつくような学習、生の声を聞くなどの授業が展開されるとよい。 ・必要な事業が行われていると思う。 ・森林環境教育事業の内容は多岐にわたり素晴らしいと感じる。他の市町の同様の事業に比べて安すぎないか？林業関係者は善意で受ける場合が多いが、ある程度しっかりとした対価を予算化すべきであると思う。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	流倒木撤去事業	3.3	B	3.0	B	3.2	B	3.1	B
2	2	危険木伐採事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.1	B
3	3	森林環境教育推進事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.5	A

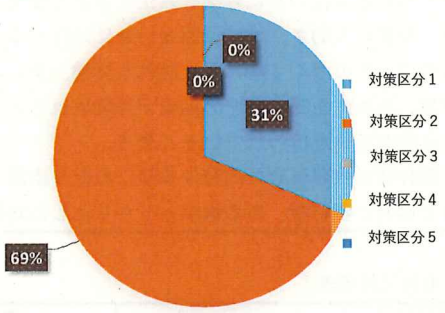
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	大紀町	三重県
人口（人）	8,068	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	7.8%	12.4%
森林面積(ha)	21,131.83	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	20,406.17	348,833.49
森林率(%)	91.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.2	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	1	渓流倒木等処理事業	2,503,600	2,503,300	2,503,300					
2	2	生活環境林整備事業	5,496,700	5,496,700		5,496,700				
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	3,347,000	3,347,000						3,347,000
計			11,347,300	11,347,000	2,503,300	5,496,700	0	0	0	3,347,000

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	9.1	4,900,000	4,900,000	間伐等(災害緩衝林一体型)
森林再生力強化対策事業	1272	533,000	533,000	植栽タイプ
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	基本方針１の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と渓流倒木等処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていく。 また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことが、県民全体の安全安心に繋がっていく。
事業実施により得られた効果	事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、生活に直結している人家への安全性が向上したことと、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安全安心を向上することが出来た。
情報発信への取組	事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。 事業実施中は、県民税幟を事業箇所に立て、県民税での事業実施をPRしている。 事業完了後、当年行った事業においてPRポスターを作製し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップし税事業のPRを行う。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・住民の安全のため、今後も有効な活用を期待しております。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。 ・事業方針が明確でいい。大紀町が役割を担うことが県民全体の安全安心をもたらす、という「県民全体」を視野にいれて取り組まれていることを高く評価します。 ・事業はある程度効率的に行われていると思われるが情報発信が不十分だと感じた。 ・また森林環境教育や木材利用にも取り組まれたい。

6．事業別評価表

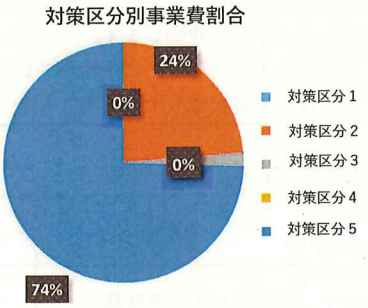
番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	渓流倒木等処理事業	3.3	B	3.3	B	3.3	B	2.9	B
2	2	生活環境林整備事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	2.9	B

令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	南伊勢町	三重県
人口（人）	11,461	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	6.1%	12.4%
森林面積(ha)	20,629.37	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	20,429.98	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.2	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	危険木除去事業	2,737,900	2,731,000		2,731,000				
2	3	森林環境教育事業	205,700	205,000			205,000			
3	5	阿曽浦公園ウッドチップ舗装整備事業	8,580,000	8,580,000					8,580,000	
計			11,523,600	11,516,000	0	2,731,000	205,000	0	8,580,000	0

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	公共施設の周辺や通学路・避難道等の危険木の除去や、森林環境教育事業で森を大切に思う子どもの育成、住民が木材に触れながら快適に過ごすことができる空間づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出するため、県民税を活用させて頂いている。
事業実施により得られた効果	危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、森や緑の働きを知ったり触れ合うことで森と緑の大切さを理解し、将来の森林を守り続けていくことに寄与している。 阿曽浦公園ウッドチップ舗装整備事業については、町民が日常的に使用する公園をウッドチップ舗装することにより、木材に親しみ身近に感じてもらうことができている。また、区民が一堂に会する夏祭り等のイベントで使用されることにより、木や県民税を身近に感じてもらう機会となっている。
情報発信への取組	町の広報誌やHPへ掲載することにより、情報発信を行いました。 森林環境教育については、東海テレビでの放映や、町のケーブルテレビで放送して情報発信をしました。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・森林環境教育事業はとても良い取り組みだと思います。またウッドチップ舗装も住民のために良い取り組みであると考えます。長期の維持管理を期待しております。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。 ・南伊勢町が抱えている森林の課題を森林環境教育の教材にすることはできないでしょうか。木はなぜ危険木になるのか、など森林と人が共生するためには、人間の管理と利用、活用が必要であることを伝えることが重要です。さらには、子どもたちが主体的に何ができるかを考える時間をもつなど、クラフトで木に親しむことも含め、次の段階に移行してはどうでしょうか。チェーンソーの実演の見学をせっかく行うので、その際に森林で働いている人の生の声や、森林管理の必要性や方法ををわかりやすく伝えるなど行ってはどうでしょうか。三重県産のウッドチップを使った公園も（県産材の利用という視点での）重要な教材になります。検討ください。 ・広葉樹は、伐採時に枝の一部を残すことで樹木を枯死させず、その根系による土砂の崩壊防備機能を保持することが期待できることから、危険木等の伐採にあたり一律に根元から伐採することを避けるなど、状況に応じた伐採方法についても柔軟に検討されたい。 ・今年度は情報発信について工夫されていた点が評価できた。 ・危険木除去、森林環境教育と木材利用に取り組んでいる点は評価できる。 ・ウッドチップ舗装については資料からはよくわからず。自分なりに検索して想像したが、この整備を行うことでどのような公園になるのか分かりやすく示して頂けると良いと考える。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木除去事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.0	B
2	3	森林環境教育事業	3.0	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
3	5	阿曽浦公園ウッドチップ舗装整備事業	3.0	B	3.2	B	3.2	B	2.9	B

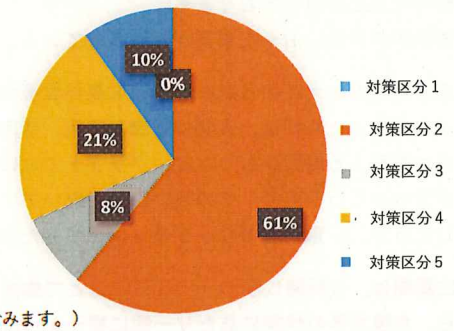
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	名張市	三重県
人口（人）	76,729	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	12.4%	12.4%
森林面積(ha)	6,835.43	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	6,835.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	13.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	危険木伐採事業	3,325,700	3,325,700		3,325,700				
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	682,675	682,675		682,675				
3	2	人家裏危険木伐採事業	2,282,000	2,282,000		2,282,000				
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,980,000	495,000		495,000				
5	3	みて・さわって・森のわくわく体験事業	373,560	373,560			373,560			
6	3	学校林整備事業	400,000	400,000			400,000			
7	3	森林環境教育推進事業	100,000	100,000			100,000			
8	4	県産材に親しむことができる木育推進事業	847,000	847,000				847,000		
9	4	森と人とをつなぐ憩いの空間作り事業	1,564,200	1,564,200				1,564,200		
10	5	森林公園等環境活用整備事業	780,000	780,000					780,000	
11	5	桜並木保全管理事業	300,000	300,000					300,000	
12	-	基金積立事業	903,441	903,441						903,441
計			13,538,576	12,053,576	0	6,785,375	873,560	2,411,200	1,080,000	903,441

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	19.65ha	7,499,800	7,499,800	災害緩衝林一体型整備事業の実施（間伐）
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	115m	1,980,000	495,000	名張市 夏秋 地内で実施

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	名張市では「暮らしに身近な森林づくり」に優先的に取り組み、市民が安全に生活を送れるように、道路沿いなどで繁茂している木々の伐採や、人家裏にあって倒木の恐れのある危険木の伐採費用を補助することによって、生活環境の向上を図っています。また、児童の森林環境教育を積極的に推進しており、地域の自然を大切にし身近な森林環境をつくるボランティア団体の活動を支援することで、保育・幼稚園児～小学生が森林や緑を楽しむ環境を整備しています。
事業実施により得られた効果	「災害に強い森林づくり」に沿った事業を実施するまでは、あまり手入れをされることなく放置され、市民の生活圏を脅かしていた森林が整備されたことにより、市民がより安心して暮らせるようになった。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」に沿った事業の実施により、森林への関心が高まる昨今において、森林環境教育を推進し、次代を担う子どもたちが森林や緑に対する関心を深めることで森林の重要な役割に気付くきっかけづくりとなった。
情報発信への取組	事業内容やその成果については広報誌及びHP、ラジオ放送により、広く市民に周知している。また、事業実施現場にはのぼり旗や看板を設置することで、みえ森と緑の県民税の存在を最大限周知できるよう努めた。保育・幼稚園、小学校関連の事業については、保護者だより等で事業実施の周知時に財源にはみえ森と緑の県民税が活用されていることを記載した。 ほかに、「森と人とをつなぐ憩いの空間作り事業」で名張市役所1階に授乳室を設置し、付近にみえ森と緑の県民税に関するパネル展示することで、市庁舎を訪れる大勢の方に向けて県民税の周知に努めた。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・バイオマス事業の自立を期待しています。広範な使途にわたりながら、全体としては有効な活用がなされたと考えます。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。市としてパネル展示に取り組むなど，周知に積極的であるのはよいと思う。 ・多岐にわたり取り組みを展開されていることに高く評価します。特に、母子（乳幼児）、幼児、小学生を対象にしたプログラムが用意されていて名張のこどもたちが森林に触れる機会が多々あることがいい。保育所と幼稚園が2チームに分かれて実施する野外体験保育は、普段一緒にいない子どもたち同士が同じ体験をすることができ、子どもたちの記憶に残るでしょう。また、学校林の事業や地区自治協議会が行う森林教育などが小学校で実施されており、今はまだ数が少ないけれど、今後多くの小学校での展開されることを期待します。保育所での木製遊具の設置についても、今は1ケ所ですが、他の保育所への実施も期待します。保育所、幼稚園での木育の実施も素晴らしい。授乳室の木質化も素晴らしい。さらに、地域住民の参加による森林公園の整備や、桜並木の保全の取り組みについても、住民が地域の財産である木々や森林、公園を管理・保全するという自治意識があり、素晴らしい。あらゆる世代に、積極的に働きかけている名張市の施策が他地域のモデルとして展開されることを期待します。名張市の住民を対象に本県民税、名張市の森林施策についての認知度調査はされているのでしょうか。本県民税の取組がどの程度寄与しているか、把握することも重要だと思います。 ・広葉樹は、伐採時に枝の一部を残すことで樹木を枯死させず、その根系による土砂の崩壊防備機能を保持することが期待できることから、危険木等の伐採にあたり一律に根元から伐採することを避けるなど、状況に応じた伐採方法についても柔軟に検討されたい。 ・意欲的に取り組まれていると評価する。 ・県民税の多様な使われ方に工夫がみられ、それにより市民の税に対する認知度も高いように感じる。一部使われ方にコストの面で妥当か判断できない印象もあるが、積算資料の明細があれば良いと思いました。 ・危険木除去の事業割合が大きいが森林教育や木材利用にも取り組んでいる。特に授乳室への利用は子どもと母親に木の良さを伝える効果もあり高く評価する。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	危険木伐採事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.1	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
3	2	人家裏危険木伐採事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
4	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3.3	B	3.3	B	3.2	B	3.1	B
5	3	みて・さわって・森のわくわく体験事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	3.2	B
6	3	学校林整備事業	3.5	A	3.1	B	3.2	B	3.0	B
7	3	森林環境教育推進事業	3.2	B	3.3	B	3.1	B	3.1	B
8	4	県産材に親しむことができる木育推進事業	3.2	B	3.2	B	3.1	B	3.2	B
9	4	森と人とをつなぐ憩いの空間作り事業	3.1	B	3.1	B	3.3	B	3.3	B
10	5	森林公園等環境活用整備事業	3.4	B	3.3	B	3.2	B	3.1	B
11	5	桜並木保全管理事業	3.1	B	3.1	B	3.2	B	3.1	B

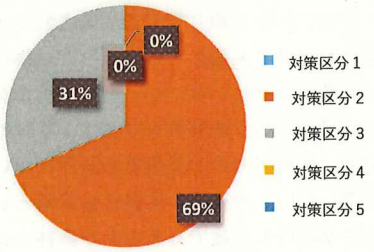
令和2年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	伊賀市	三重県
人口（人）	86,306	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	11.2%	12.4%
森林面積(ha)	33,952	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	32,599	348,833.49
森林率(%)	61.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	12.1	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	5,800,000	5,800,000		5,800,000				
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	5,836,810	5,836,810		5,836,810				
3	3	親子ではじめる木育推進事業	2,334,650	2,334,650			2,334,650			
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	1,782,037	1,782,037			1,782,037			
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	500,000	500,000			500,000			
6	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	700,000	700,000			700,000			
7	—	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	2,345,503	2,345,503						2,345,503
計			19,299,000	19,299,000	0	11,636,810	5,316,687	0	0	2,345,503

３．　　年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	25.15	7,810,000	7,810,000	間伐実施
森林再生力強化対策事業	—	—	—	—
災害からライフラインを守る事前伐採事業	—	—	—	—

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	当市の森林面積率は、61%であり、周囲が森林に囲まれた立地にある。そのような背景を踏まえ、災害に強い森林づくりと住民全体で森林を支える仕組みづくりの両立を図ることが必要であることから、暮らしに身近な森林を住民自らの手で整備する事業を推進しているとともに、木育を始めとして森林や緑を大切に思う人づくりに繋がる教育活動を支援する事業を推進している。
事業実施により得られた効果	みんなの里山整備活動推進事業では、事業を通して地域の山林として位置づけることで、維持管理する方向性が地区等で拡がっている。未利用間伐材バイオマス利用推進事業においても、木材搬出量が年々増加傾向にあり、災害に強い森林づくりのみならず、森林所有者が間伐作業へ携わる機会の増大に貢献している。木育関連事業で実施したアンケートでは、木のぬくもりの良さについて回答する意見も見受けられ、森林の持つ重要性についての周知が進んでいる。
情報発信への取組	みえ森と緑の県民税の認知度をより高めるため、今年度は２回の時期に分けて、市内で放映されるＣＡＴＶ（伊賀上野ケーブルテレビ）を活用して、みえ森と緑の県民税の目的や必要性を周知した。伊賀市では、木育から森林整備まで幅広く事業展開している市町交付金事業の全事業について紹介し、中でも、「森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）」の紹介では、生徒がプレゼンテーションしている様子の写真や完成品の写真、配置箇所等を説明し、県民税を身近に感じられる内容で周知した。 また、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から、市内の農産物等イベントへの木育ブース出展による情報発信活動は中止となったが、みえ森と緑の県民税に関するアンケート等を実施したほか、伊賀市役所庁舎内にて、木製品の展示と合わせて木使いの重要性を伝えるパネル展示、みえ森と緑の県民税に関するパネル展示を三重県伊賀農林事務所と共同で実施し、森林の重要性とともに県民税の周知に努めた。

５．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・乳幼児から，小中学生，高校生まで，それぞれに対応したプログラムを展開されていることは評価できます。 ・ソフト面で有効な活用がなされていると評価します。 ・事業目的に沿った事業が実施されている。地元の森林ボランティアや，高校生を地域ぐるみで育成する取り組み，幼児期からの木育など，地域の担い手育成に繋がる事業を重点的に実施している点は評価できる。 ・地域住民の主体性を大切にし、地域住民の主体性による持続的な森を支える社会づくりを実現しようとしている。また、森林所有者の参加も増えている。さらに、生まれたときから、小中学校、高校生までのプログラムが用意されている。 ・意欲的に取り組まれていると評価できる。なるべく住民を巻き込む取り組みとしている点がよいと思う。また幅広い年齢層に事業を展開されていることは評価できる。 ・地域の森と緑のつながり支援事業については、次年度以降の取り組みが重要 ・伊賀市も県民税の活用を広く市民に周知する事業に取り組めていると感じる。情報発信もよくされていると感じる。 ・地域の方々による森林整備支援、木育の取り組みなどよく工夫されている。５の事業の成果概要を示して頂くと大変良いと感じた。

６．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	みんなの里山整備活動推進事業	3.5	A	3.2	B	3.2	B	3.2	B
2	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
3	3	親子ではじめる木育推進事業	3.7	A	3.2	B	3.3	B	3.4	B
4	3	伊賀の森っこ育成推進事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.4	B
5	3	地域の森と緑のつながり支援事業	3.1	B	3.1	B	3.0	B	3.1	B
6	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	3.6	A	3.2	B	3.2	B	3.2	B

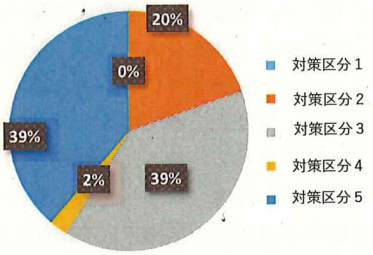
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	尾鷲市	三重県
人口（人）	16,567	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	9.1%	12.4%
森林面積(ha)	17,703.01	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	14,933.86	348,833.49
森林率(%)	92.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	6.0	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	人家裏危険木伐採事業	1,548,000	1,548,000		1,548,000				
2	3	"森の国"尾鷲の自然環境人材育成事業	1,840,000	1,840,000			1,840,000			
3	3	クップ普及推進事業	1,265,590	1,265,590			1,265,590			
4	4	木とふれあう学校環境づくり事業	191,400	191,400				191,400		
5	5	三木里地区憩いの場整備事業	1,127,500	1,127,500					1,127,500	
6	5	中村山公園整備事業	1,914,000	1,914,000					1,914,000	
7		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	2,357,510	2,357,510						2,357,510
計			10,244,000	10,244,000	0	1,548,000	3,105,590	191,400	3,041,500	2,357,510

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	近年では、災害による被害が拡大傾向にあることから、災害に強い森林づくりは大変重要なものであると考えている。また、危険木等を伐採したままにするのではなく、園児や児童、生徒への木育の機会を設けるツールとして利用する方法を考え、災害と森林教育の観点から事業の選定を実施している。
事業実施により得られた効果	人家裏や公園の危険木伐採は、災害に強い町づくりの推進に一定の効果が得られたと考えている。この点については、事業実施後の住民の反応や声をみても、いずれも好意的なものであったため、安全・安全の確保に効果があったと感じている。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、体験や木育等の事業は縮小又は中止せざるを得ない状況になってしまい、計画策定時に想定していた取組みが実施できず、大変残念なものとなってしまったが、次年度以降の課題として事業の展開方法を模索していきたい。
情報発信への取組	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人を集めての活動がほとんど実施できなかったため、活動の場でＰＲを行うことができず、ホームページや広報誌での情報発信がほとんどであった。危険木除去等では伐採した箇所に看板を設置する等したが、イベントや活動の自粛等を想定した情報発信を考えていく必要があると痛感した。 そんな中にあって、地元誌に県民税の活動を取り上げていただいたのは大変よいＰＲとなった。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・住民の安全確保を中心に有効な活用がなされているものと評価します。クッブの普及に期待しています。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。 ・事業方針に6つの事業がどうつながっているのか、「災害」と「森林環境教育」の観点から選定している部分が見えにくかったです。①は危険木伐採、②は人材育成、③はクッブを使って木育、④は木製の机と椅子の配布、⑤は枝払い等整備、⑥は公園の整備、と「災害」と「森林環境教育」に関わっているものの、体系的に施策を整理しにくかった。また、③④については教育プログラムの充実、⑤⑥整備したことでの利用者のアンケート等による効果検証などがあるといい。②の三重大学との連携事業は、大学生と地元住民が作成したプログラムを地元小学生に実施する、など非常によく構成されていました。 ・木とふれあう学校環境づくり事業では、自ら机椅子を作成する点がすばらしかった。今後も続けてほしい。 ・森林率の高い地域なので、「災害に強い森林づくり」などにもっと活用されるとよい。 ・尾鷲林業の中心地でもある尾鷲市では危険木除去、木材利用、森林教育などがバランスよく行われており評価できる。 ・特に学校での机のメンテナンスと森林環境学習を組み合わせた取組は他市町も参考にされたい。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	人家裏危険木伐採事業	3.2	B	3.4	B	3.2	B	3.1	B
2	3	"森の国"尾鷲の自然環境人材育成事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
3	3	クッブ普及推進事業	3.1	B	2.9	B	3.2	B	3.2	B
4	4	木とふれあう学校環境づくり事業	3.6	A	3.2	B	3.3	B	3.1	B
5	5	三木里地区憩いの場整備事業	3.1	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
6	5	中村山公園整備事業	3.3	B	3.2	B	3.1	B	3.1	B

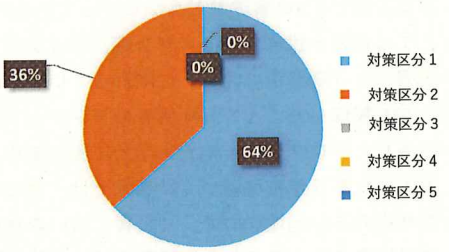
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和2年度版）」、「令和元度版森林・林業統計」による

市町名	紀北町	三重県
人口（人）	14,556	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	8.1%	12.4%
森林面積(ha)	22,934.39	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	18,009.40	348,833.49
森林率(%)	89.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	41.3	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	1	河川周辺森林立枯木整備事業	4,229,237	4,229,237	4,229,237					
2	2	危険木伐採事業	2,255,000	2,255,000		2,255,000				
3	2	集落周辺森林（里山）整備事業	169,200	169,200		169,200				
4		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業		4,380,563						4,380,563
計			6,653,437	11,034,000	4,229,237	2,424,200	0	0	0	4,380,563

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	7.26ha	4,608,784	4,608,784	等高線並べの間伐による緩衝林化
森林再生力強化対策事業	3,773m	2,175,556	2,175,556	鳥獣害防護柵新設・補修
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	町民の安全・安心を守る暮らしに身近な森林づくりと、次代を担う子どもたちが森林の大切さを学ぶ機会の創出
事業実施により得られた効果	河川周辺森林立枯木整備事業では、立枯木を伐採してしまうことにより、大雨が降った際に下流域の橋梁等を損傷させてしまうリスクを減らすことができた。危険木伐採事業においては、事業実施主体である各区の森林管理の意識の向上が見られ、補助金活用の要望が増加した。 ※森林環境教育活動支援事業については、新型コロナウイルスの感染が懸念されたため交付金を活用することができませんでした。
情報発信への取組	紀北パーキングエリア内の始神テラスの一角に展示スペースを設け事業成果を示したパネル展示や、ノベルティの配布を行った。 また、町民向けの行政放送テレビチャンネルで県民税について取り扱いを行い、事業実施地にはPR用の木製標柱を設置した。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・有効かつ公益性の高い活用がなされています。HP等を利用した情報発信をご検討ください。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。 ・紀北町の地域課題から本取組は、地域住民の自発性、自治によるものであり、継続性の担保、最小限のコストでの実施など高く評価しました。住民自ら整備し、活用し、安心安全を創出する。森林環境が荒廃している地域での果敢な取組です。同様の課題を抱える他地域へのモデル事業となることを期待します。 ・情報発信度について、すべての事業で工夫している点が評価できた。 ・昨年までは事業の明細が分かりやすく詳細に記入されていたが今回は見当たらない為、評価を下げざるを得なかった。 ・林業や製材業の盛んな地域であり地域資源の活用につながるような事業にも取り組んで頂きたい。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	1	河川周辺森林立枯木整備事業	3.3	B	3.1	B	3.2	B	3.0	B
2	2	危険木伐採事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.0	B
3	2	集落周辺森林（里山）整備事業	3.4	B	3.3	B	3.3	B	3.0	B

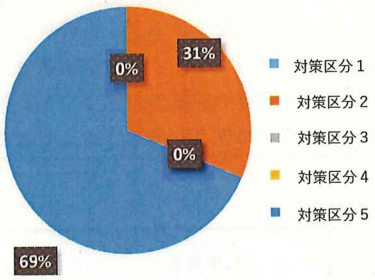
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報

市町名	熊野市	三重県
人口（人）	16,113	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	9.9%	12.4%
森林面積(ha)	32,935.18	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	29,621.62	348,833.49
森林率(%)	88.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.8	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	森林病害虫等防除実施事業	1,054,900	1,054,900		1,054,900				
2	2	身近なみどり整備推進事業	107,000	107,000		107,000				
3	2	暮らしを守る危険木伐採事業	1,433,300	1,433,300		1,433,300				
4	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	3,520,000	3,520,000					3,520,000	
5	5	景勝林等保護事業	2,156,000	2,156,000					2,156,000	
6		基金積立	6,163,019	6,162,800						6,162,800
計			14,434,219	14,434,000	0	2,595,200	0	0	5,676,000	6,162,800

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	18.18	10,870,200	10,870,200	山腹崩壊抑制のための森林整備
森林再生力強化対策事業	2,687	1,418,545	1,418,545	獣害防止施設等に対する一部補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	森林環境譲与税を財源とした森林施策とのすみ分けを行いながら、市の総合計画における森林政策の１つである「市民と共存する豊かな森づくり」を推進する財源としてみえ森と緑の県民税を活用し、森林とのふれあいの場や癒しの効果を体験しながら四季折々の自然の美しさを満喫できる森林レクリエーションを充実するための整備を進める。
事業実施により得られた効果	市が公益性の判断で実施する事業には特定機能の維持を図るもののほか、生活道路や施設の利用者など多くの人々に効果を及ぼすものが多く、県民税事業を行うことにより、安全・安心に地元の森林や自然とふれあう環境を整備することができ、市民だけでなく市への来訪者も恩恵を受けている。
情報発信への取組	事業実施の際にはのぼりや看板によって県民税のPRを行っているが、広い市域の中にあって事業箇所が点在しており、利用者の目にふれる機会が少ないことから、市のホームページに事業の計画と実績の紹介や市の玄関口であるJR熊野市駅や市街地に近い市文化交流センターにおいて例年パネル展示を行っている。

＊評価の参考として、別紙「森林環境譲与税事業の実績」を添付すること。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・いずれも公益性の高い事業に有効に活用されているものと高く評価します。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。事業の周知をしっかり行っている。 ・防風保安林の保護・保全、危険木の伐採・除去、森林公園の維持・管理、景勝林の維持・管理と、地域住民の生活を脅かす木々、地域住民の癒しと誇りである木々を保全する取組がされています。森林に近しい地域であるため、森林のもつ良さと危険の両面を当県民税を使って継続的に実施されています。多くの事業を森林組合に委託しているため、地域住民への周知、地域住民の参加等を今後うまく展開していただきたい。事業による変化に対しての地域住民へのアンケートなどを事業効果の検証等をしてはどうでしょうか。 ・広葉樹は、伐採時に枝の一部を残すことで樹木を枯死させず、その根系による土砂の崩壊防備機能を保持することが期待できることから、危険木等の伐採にあたり一律に根元から伐採することを避けるなど、状況に応じた伐採方法についても柔軟に検討されたい。 ・情報発信度について、すべての事業で工夫している点が評価できた。できれば整備事業以外にも広げてほしい。 ・熊野市も林業の盛んな地域であるが、その特徴を活かした事業があまりない。素材生産が盛んで原木市場もあり、内装材を中心とした製材工場では木育の取り組みが進んでいる。そうした方と連携した事業で地域の資源を活かせるような取り組みを期待したい。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	森林病害虫等防除実施事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
2	2	身近なみどり整備推進事業	3.1	B	3.3	B	3.2	B	3.2	B
3	2	暮らしを守る危険木伐採事業	3.2	B	3.0	B	3.2	B	3.2	B
4	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B
5	5	景勝林等保護事業	3.4	B	3.2	B	3.2	B	3.2	B

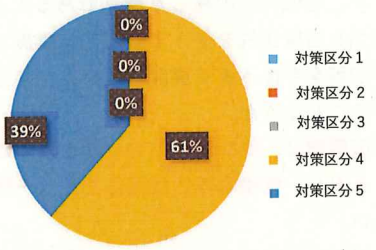
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	御浜町	三重県
人口（人）	8,200	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	11.0%	12.4%
森林面積(ha)	5,691.76	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	5,598.49	348,833.49
森林率(%)	65.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	20.4	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	4	中央公民館木質化事業	3,257,802	3,257,802				3,257,802		
2	5	森林公園等環境整備事業	1,254,000	1,254,000					1,254,000	
3	5	熊野古道道標等設置事業	1,372,000	788,000					788,000	
4		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	2,563,198	2,563,198						2,563,198
5				0						
6				0						
7				0						
計			8,447,000	7,863,000	0	0	0	3,257,802	2,042,000	2,563,198

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	森林は木材価格の低迷により未整備森林の増加が懸念されており、公益的機能を十分発揮できない森林の整備については森林環境譲与税を活用して整備を行い、一方県民税では、森林公園等のフィールド整備を行い、住民が森林や緑とふれあう機会を創出し、また森林環境教育を行う公共施設等で木材を利用することにより、木材の良さを伝え、木材を使うことが森林整備につながることへの理解を深めていく。
事業実施により得られた効果	多くの児童が利用する図書館や世界遺産熊野古道での備品等の木質化を行い、県産材に触れながら森林についての学習ができる場を提供することができた。また、森林公園の整備を行うことにより、住民に森や緑に触れ合う機会を創出することができた。
情報発信への取組	町民や施設利用者へ県民税を活用して整備が行われていることを周知するため、作業期間中に県民税ののぼり等の設置、庁舎内でのパネル掲示、事業により導入した備品等への県民税ロゴマークの貼付、事業実施施設への県民税ポスターの掲示を実施した。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・町内外に受益者の多い、非常に有効な活用がなされているものと高く評価します。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。役場でのパネル展示など，事業の周知をしっかり行っている。 ・公民館など公共施設に県産材を取り入れ、触れる機会を増やす事業をされており、その際に学習も行われ、充実した取り組みです。公園の整備については整備の必要性はありますが、森林環境教育の展開などあわせの検討ができないでしょうか。熊野古道の道標についても、周知啓発の方法に工夫ができないでしょうか。 ・情報発信度について、すべての事業で工夫している点が評価できた。 ・HPの活用など昨年より広報の取り組みが改善されたことが理解できた。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	4	中央公民館木質化事業	3.3	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
2	5	森林公園等環境整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	3.1	B
3	5	熊野古道道標等設置事業	3.1	B	3.1	B	3.1	B	3.1	B

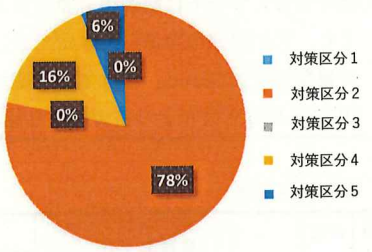
令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業　市町別総合評価シート

１．基礎情報：「三重県市町要覧（令和元年度版）」、「平成30年度版森林・林業統計」による

市町名	紀宝町	三重県
人口（人）	10,588	1,782,190
年少人口割合（%）＊1	11.8%	12.4%
森林面積(ha)	6,073.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	6,027.34	348,833.49
森林率(%)	76.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7.6	10.1

＊１：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊２：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊３：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



２．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分１	対策区分２	対策区分３	対策区分４	対策区分５	基金積立
1	2	生活環境林整備事業	4,332,900	4,332,900		4,332,900				
2	4	飛雪の滝キャンプ場木製備品購入事業	869,000	869,000				869,000		
3	5	クマノザクラ整備事業	330,000	330,000					330,000	
4		みえ森と緑の県民税市町交付金積立金	1,803,100	1,803,100						1,803,100
計			7,335,000	7,335,000	0	4,332,900	0	869,000	330,000	1,803,100

３．令和２年度　みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量(ha)	事業費(円)	内交付金充当額(円)	事業概要
連携枠（流域防災機能強化対策事業）	5.9	2,715,900	2,715,900	間伐事業
連携枠（流域防災機能強化対策事業）	6.95	3,654,200	3,654,200	間伐事業
連携枠（流域防災機能強化対策事業）	17.73	369,600	369,600	測量事業

４．事業方針及び事業実施により得られた効果、情報発信への取組

事業方針	本町は海・山・川の自然に恵まれ、それらの自然は人々の生活やまちの文化に大きな影響を与えてきた。特に、海岸部及び熊野川沿岸の一部は吉野熊野国立公園区域に位置付けられており、この貴重な自然を保護するとともに、自然にふれあえる場として保全・整備を進めていく。なお、県民税導入後継続して実施している「森と緑の環境教育事業」（対策区分3：森を育む人づくり）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は実施できなかったが、町民からの要望が多くあり、終息後は再開していく予定である。
事業実施により得られた効果	「生活環境林整備事業」「クマノザクラ整備事業」を実施したことにより、安全安心なまちづくりと自然にふれあう施設整備が行われた。また、熊野川沿いの「飛雪の滝キャンプ場木製備品導入事業」により、施設利用者へ木材の魅力について普及できた。このような取組により、町民、周辺の県民、及び遠方からの観光客などが恩恵を受けることができたことは大きな成果である。
情報発信への取組	各種集客イベントの際、チラシや啓発物品の配布を行っている。また、施工現場ではのぼり旗の設置や県民税活用の看板の設置、備品購入等の場合は、施設内に県民税ポスターの掲示や購入備品へのロゴマークの貼付を行い、事業実績のパネル展示は役場内町民ホールで行っている。

5．評価委員からの総合的な提言（アドバイス）

総合的な提言（アドバイス）
・ハード・ソフト面ともに幅広く有効な活用がなされています。HP等での情報発信をご検討ください。 ・概ね事業目的に沿った事業が実施されている。役場でのパネル展示など，事業の周知をしっかり行っている。 ・「クマノザクラの整備事業」を継続して実施されているので、ぜひ「クマノザクラ」を通して、地域住民、三重県民に伝えたいこと、「なぜクマノザクラを植えるのか」「植樹しないとどうなるのか」などを伝え学ぶ機会をつくっていただけるとよいのではないでしょうか。「生物多様性」を学ぶ上で重要な教材になると考えます。すでに実施されているかもしれませが、森林環境教育の地域教材にもなるのではないでしょうか。NPOと連携してぜひ取り組んでいただきたいです。 ・どのように伐採したかわかるような写真が数多くつけられています。 ・広葉樹は、伐採時に枝の一部を残すことで樹木を枯死させず、その根系による土砂の崩壊防備機能を保持することが期待できることから、危険木等の伐採にあたり一律に根元から伐採することを避けるなど、状況に応じた伐採方法についても柔軟に検討されたい。 ・情報発信度について、すべての事業で工夫している点が評価できた。 ・三重県最南端の話題性の高いクマノザクラの発見により森林環境整備に高い関心と人の誘導もあれば県にとっても有益だと思います。 ・昨年迄行われていた環境教育事業がなかったのは新型コロナウイルスの影響だろうか？工夫をしながらこうした事業にも取り組んで頂きたい。

6．事業別評価表

番号	対策区分	事業名	有効性		効率性		公益性		情報発信度	
			平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価	平均点	評価
1	2	生活環境林整備事業	3.2	B	3.2	B	3.2	B	2.8	C
2	4	飛雪の滝キャンプ場木製備品購入事業	3.2	B	3.1	B	3.2	B	2.8	C
3	5	クマノザクラ整備事業	3.3	B	3.0	B	3.1	B	2.7	C